

保存版

令和7年3月 発行



葛飾区

水害ハザードマップ

解説編



大型の台風の影響により、
荒川・江戸川の洪水や東京湾の高潮など
葛飾区でも大規模な水害が
起きる可能性があります。

このまま地球温暖化が進むと、
台風が大型化し、
勢力がさらに強くなる
可能性があります。

大規模水害から、
自分の命を守る！

ハザードマップの内容は、分かりやすく映像にまとめて、
公開もしています！葛飾区公式YouTubeチャンネルから
ご確認できますので、是非、ご覧ください。



❖ 目次 ❖

- 第1章 近年の風水害事例と葛飾区の地域特性 近年の国内の風水害、葛飾区の地勢、治水事業・水防活動 …… P2～5
- 第2章 災害時の避難行動や避難所の原則について 避難行動フロー図、分散避難、在宅避難、
大規模水害時、自宅にとどまった場合、避難のときの心得、避難所ルール P6～11
- 第3章 水害からの避難のための情報収集について 日頃からの心得、避難情報の入手方法、
河川・気象情報と収集方法、区民のみなさんがとるべき行動 …… P12～16
- 第4章 地域別の浸水リスクや避難行動について 地域別の浸水リスク …… P17～25
- 第5章 内水氾濫・外水氾濫が起きた場合の浸水状況 河川別浸水想定区域図、内水氾濫マップ …… P26～37
- 第6章 複数河川・高潮の氾濫からの広域避難について 江東5区大規模水害ハザードマップ、高潮による氾濫、広域避難とは P38～43
- 第7章 身近な水害対策を進めましょう 自治町会に加入しましょう、風水害に備えよう …… P44～45
- 第8章 いつ・どのような避難行動をとるのか考えましょう！ マイ・タイムライン、非常時持出品チェックリスト …… P46～47

❖ 近年の国内の風水害について



1898年から2019年までの観測記録によると、日本列島の年平均気温偏差は約100年あたり1.30℃上昇しており、さらに1901年～1930年と1990年～2019年のそれぞれ30年間を比較すると日降水量200mm以上の年間日数は、1.7倍に増加しています（気象庁「気候変動監視レポート2021」、「日本の気候変動2020」）。そのため近年、集中豪雨や局地的な大雨が増加するとともに、日本付近の海水温も高いことから大型で非常に強い勢力をもった台風が頻繁に接近するなど、日本各地で気候変動による大規模な風水害が頻発化・激甚化しています。

災害事例



平成27年9月関東・東北豪雨

出典：国土交通省 関東地方整備局 ホームページ
<https://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/bousai00000176.html>

鬼怒川を始め、67本の河川が氾濫

死者14名

家屋被害22,780棟



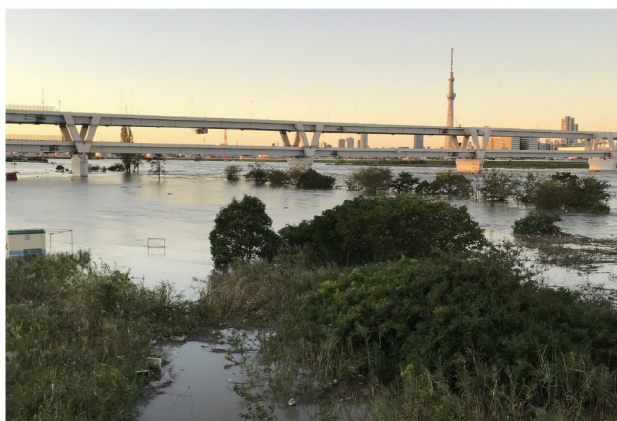
平成30年7月豪雨

出典：国土交通省 中国地方整備局 ホームページ
<https://www.cgr.mlit.go.jp/photo/h3007gouu/higai/00006.html>

岡山県真備町などで、315本の河川で被害発生

死者・行方不明者245名

家屋被害50,472棟



令和元年東日本台風（台風第19号）

台風通過翌日の増水した荒川（堀切）

東日本を中心に、142か所で堤防決壊

死者・行方不明者94名

家屋被害96,572棟



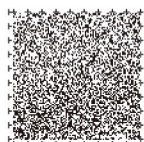
令和2年7月豪雨

出典：国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所 ホームページ
<https://www.qsr.mlit.go.jp/yatusiro/river/kouzui/>

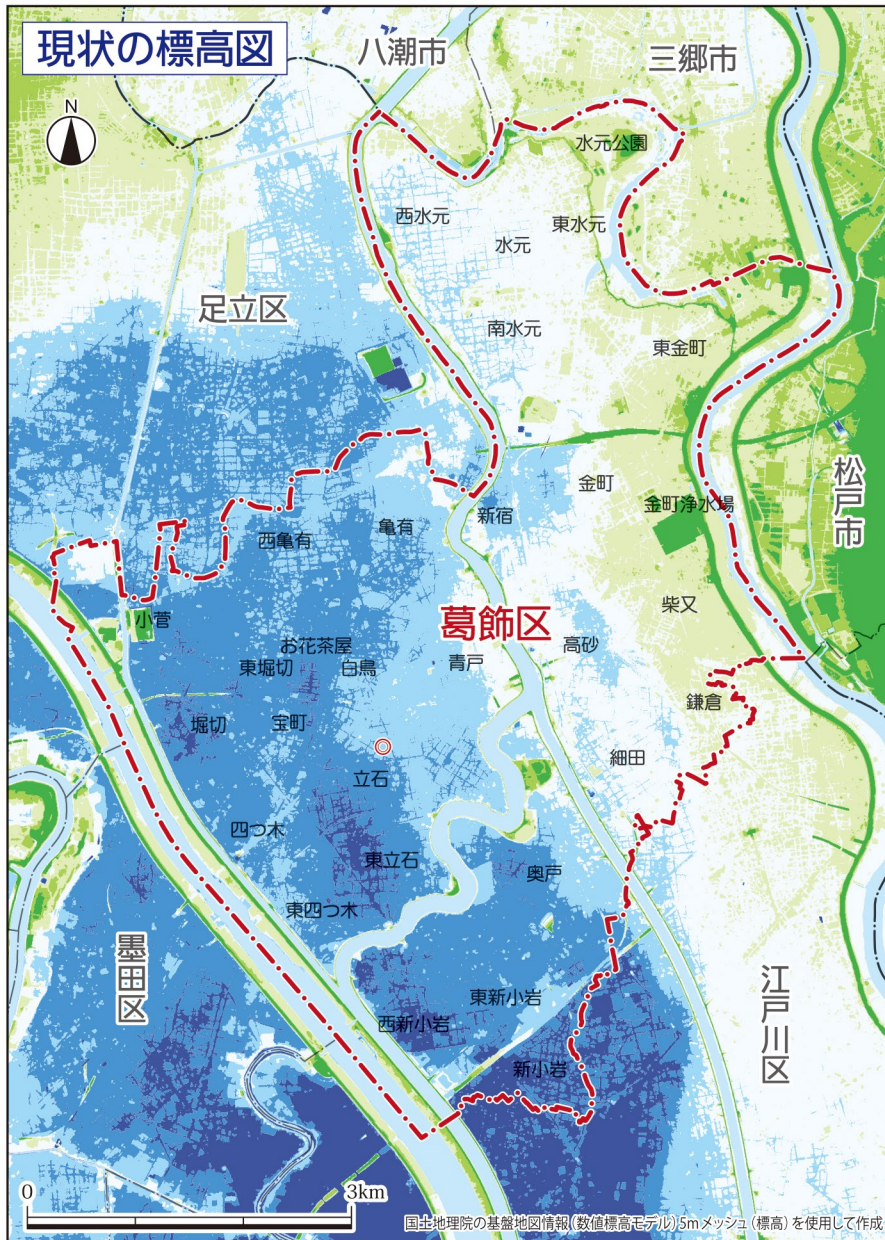
熊本を中心に、203本の河川で被害発生

死者・行方不明者86名

家屋被害16,548棟



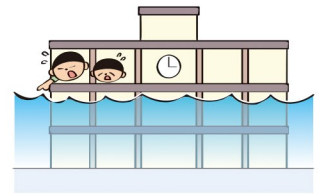
❖ 葛飾区の地勢



葛飾区は荒川、中川、江戸川といった大きな河川に囲まれています。

高度経済成長期に大量の地下水を汲み上げたため地盤沈下が進み、区の半分近くが東京湾の海面より低いゼロメートル地帯となっています。

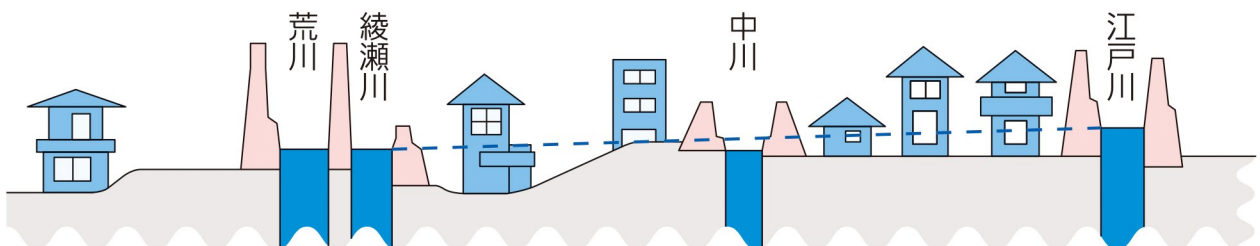
そのため、ひとたび区の周辺で洪水が起きると、甚大な被害を受けることになります。



標高値凡例

■ 4m以上の区域	
■ 3m以上	4m未満の区域
■ 2m以上	3m未満の区域
■ 1m以上	2m未満の区域
■ 0m以上	1m未満の区域
■ -1m以上	0m未満の区域
■	-1m未満の区域

私たちは、川の水面よりも低い所で生活をしています



河川の氾濫は気象情報等から発生が予想できます。地域の水害のリスクを理解して、正しい避難行動をとれば、生命を守ることができます。

ハザードマップを見て、水害が起きそうなときの避難行動について考えてみましょう！

❖ 葛飾区内の治水事業・水防活動

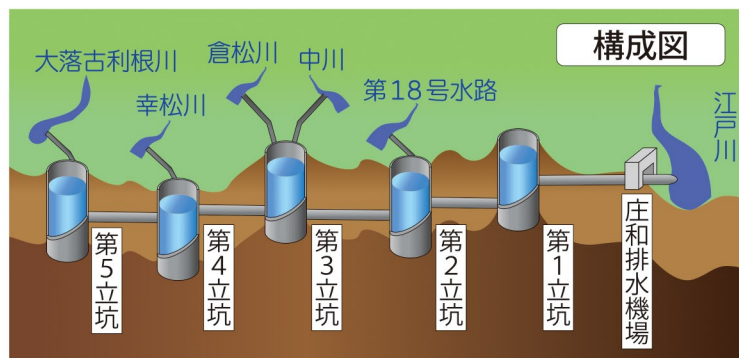


◆ 中川の治水対策

整備された中川テラス



地下50m、全長6.3kmを流れる「地下の川」
首都圏外郭放水路



本区の上流部にある春日部市の首都圏外郭放水路や三郷市の三郷放水路等が整備されて、中川の水位が高まったときに、中川の水を江戸川に排水できるようになりました。そのため、中川の上流部で水位が高くなっても、下流部に位置する葛飾区内の中川の水位はあまり高くなりずに済んでいます。

◆ 京成本線荒川橋梁架替事業

京成線堀切菖蒲園駅から京成関屋駅までの区間の荒川に位置する鉄道橋「京成本線荒川橋梁」の堤防部は、周辺の堤防に比べて低く、大型台風等による増水時は越水する危険性が高いため、荒川の弱点とも呼ばれています。現在、荒川下流河川事務所や京成電鉄により、橋梁の架け替え工事が始まっており、令和19年度に完了予定です。



橋梁部分で堤防が低くなっている様子

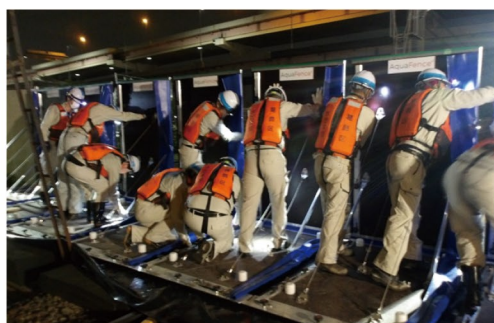
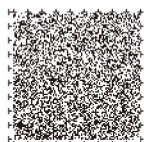
令和元年東日本台風時の荒川橋梁付近水位状況写真



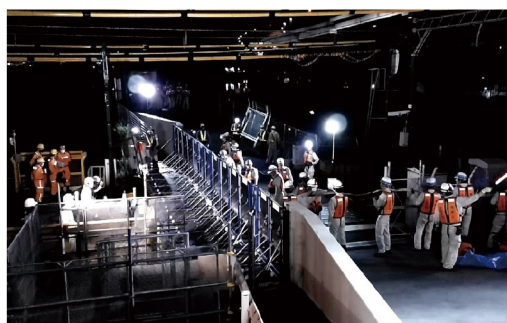
令和元年東日本台風時には、橋梁付近まで水位が上昇

◆ 京成本線荒川橋梁部における水防活動

区では、堤防かさ上げ完成までの水防対策を強化するため、線路内での水防訓練を実施しています。京成本線終電後、深夜帯の線路内において、止水板や大型水のう等を設置し、仮の堤防を築くための訓練を、警察・消防・京成電鉄と連携しながら実施しています。



止水板を組み立てている様子



設置した止水板全景

治水事業

◆ 荒川の治水対策

荒川中流部に大きな調節池を作り、河川の水位が高まっているときには、この調節池に川の水を流すことで下流部の急激な水位の上昇を抑え、堤防決壊等のリスクを軽減します。現在、荒川第一調節池が整備されており、第二、第三調節池も令和12年度の完成を目標に事業が着手されており、更なる水害リスクの軽減が期待されます。



荒川第一調節池（埼玉県戸田市、さいたま市）
洪水調節容量 約3,900万m³



第二、第三調節池概要図

（埼玉県さいたま市、川越市、上尾市）

出典：関東地方整備局 荒川調節池工事事務所 ホームページ

<https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/jigyoku/naiyou.htm>

洪水調節容量 約5,100万m³

◆ 利根川・江戸川の治水対策

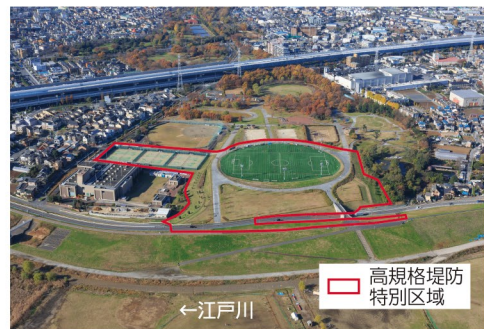
昭和22年のカスリーン台風の際には、利根川の決壊によって区内のほぼ全域が浸水してしまいました。利根川上流部のハツ場ダムが完成したため、利根川氾濫のリスクが軽減されました。また、調節池や高規格堤防の整備など、様々な治水対策が進められています。



利根川上流部のハツ場ダム（群馬県吾妻郡）

出典：関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所ホームページ
https://www.ktr.mlit.go.jp/tonedamu/tonedamu_index004-1.html

令和2年3月に完成しました。



高規格堤防（東金町）

出典：関東地方整備局 江戸川河川事務所 ホームページ

<https://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/edogawa00647.html>

◆ 綾瀬川の治水対策

区内で綾瀬排水機場及び堀切菖蒲水門が整備され、綾瀬川の水位が高まったときに、綾瀬川の水の逆流を防ぎつつ荒川に排水できるようになりました。このため、区周辺で綾瀬川の氾濫が起きる危険性は、以前に比べて大幅に軽減しました。綾瀬川でおよそ100年に1度の規模の大雨（計画規模）で洪水が起きても、区内は浸水しないと想定されています。

葛飾区を水害から守るための治水対策が進められています！

その他防災用語に関するウェブサイトはこちら（国土交通省）

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/bousai-yougo/index.html>



地震のとき、延焼火災の危険性がある場合は、安全を確保するために「避難場所」に避難する必要があります。水害のとき、自宅が浸水する場合や長期間の浸水に耐えられない場合などには、浸水しない安全な地域などへ避難する必要があります。

大地震が発生

一時集合場所
いっとき
各自治町会が選定した場所

一時集合場所に集まり、周囲の正確な情報を交換し、今後の行動を判断します。

火災あり 周囲の情報を交換・確認
近くで火災が発生し延焼の危険性があるか

火災なし

避難場所
主に河川敷や広い公園など

地震で大規模な火災が発生したときに避難する場所で、河川敷や広い公園などが指定されています。
火災が拡大し、地域にとどまることが危険な場合は、地域の皆さんと一緒に避難しましょう。

被害あり 火災の危険がなくなったら
自宅の被害を確認
倒壊・焼失しているか避難する必要があるか

被害なし

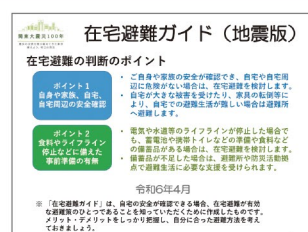
自宅

自宅が無事であれば、避難所ではなく、自宅で生活をしましょう。
また、自宅で生活ができない場合は親戚・知人の家やホテルなどへ避難する縁故避難を検討しましょう。

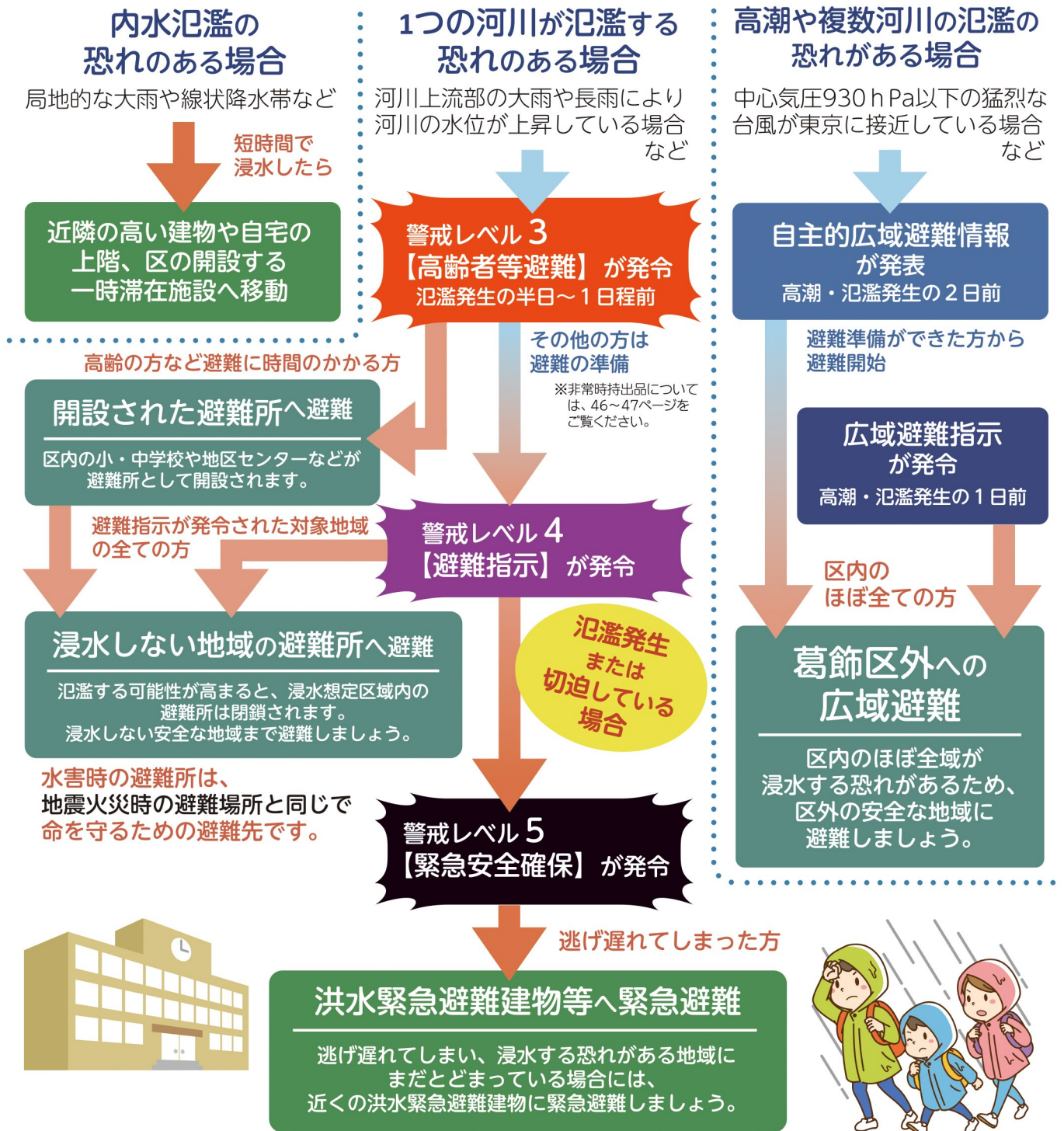
避難所
第一順位：小・中学校

避難所
第二順位：高校・公共施設
避難者が多く、小・中学校だけでは足りなくなった場合に開設

避難所（福祉避難所）
第二順位：福祉施設
要配慮者など避難所での生活が困難な方が避難できるように開設



❖ 風水害時の避難行動フロー図



▲このプレートが目印

◆ 洪水緊急避難建物等とは

区内のいずれかの河川が氾濫しても、浸水しないフロアのある区施設（洪水緊急避難建物）や公共住宅等の共用部分（水害一時避難施設）を指定しています。必要に応じて開錠をするので、緊急時には夜間・休日でも利用できるようになります。

※あくまで緊急的な避難施設です。区職員等が運営をする避難所とは異なる役割の施設です。浸水しない安全な地域の避難所や自主避難先への避難が、避難行動の原則です。

❖ 分散避難とは

分散避難とは、多くの人が集まる状態を避け、避難所以外の安全な場所へ分散して避難することです。

避難所に収容できる人数には限りがありますので、避難所以外の場所に避難ができないか、考えてみてください。

・在宅避難

自宅の想定浸水深を確認し、浸水しない床があり、食料や携帯トイレなどの事前準備を進めている場合は、在宅避難をすることができます。

・縁故避難とは

事前に約束したうえで、浸水のおそれがない親戚や知人の家に避難すること。

・ホテル等避難とは

浸水のおそれがないホテル等の宿泊施設にあらかじめ避難すること。介護施設へのショートステイなども含む。

・避難所への避難

洪水発生時に自宅が浸水する場合、浸水しない地域などに区が開設した避難所へ避難する。



❖ 在宅避難とは

葛飾区内で浸水継続時間の短い水害の可能性がある場合の避難方法として、在宅避難が有効となります。在宅避難は、避難時のトラブルを避けられることや感染症のリスクが低いこと、住み慣れた自宅で過ごす方が安心感があることなどのメリットが多くあります。

ただし、在宅避難を行うにあたり、自宅の浸水深や浸水継続時間をハザードマップで確認するとともに、自宅の備蓄品準備や安全点検、自身や家族の健康状況の確認が必要となります。

葛飾区では、「在宅避難ガイド（水害版）」と「在宅避難ガイド（地震版）」を作成し、自宅で避難を行う際のポイントや事前の準備について、解説をしています。在宅避難のメリット・デメリットを把握し、自身と家族に合った避難方法を考えておきましょう。

在宅避難ガイド（水害版）

在宅避難の判断のポイント

ポイント1
自宅の浸水リスクの確認

- ハザードマップを用い、自宅の想定浸水深を確認し、浸水しない床がある場合は、在宅避難を検討します。
- 浸水しない床がない場合は、できる限り、浸水しない地域への縁故避難や小・中学校などへ水平避難します。

ポイント2
自身・家族の身体状況や浸水継続によるリスクを許容できるかを確認

- 自身や家族が健康で、1週間程度の食料や携帯トイレなどの事前準備を進めている場合は、在宅避難を検討します。
- 人工透析など、継続的な医療が必要な方がいる場合や十分な事前準備ができていない場合は、浸水しない地域への縁故避難や小・中学校などへ水平避難します。

令和6年4月

※「在宅避難ガイド」は、自宅の安全が確認できる場合、在宅避難が有効な避難策のひとつであることを知っていただくために作成したものです。メリット・デメリットをしっかりと把握し、自分に合った避難方法を考えておきましょう。

5. 在宅避難に向けた安全点検

在宅避難する場合は自宅の安全点検をする必要があります。以下の項目を確認したうえで在宅避難しましょう。

風水害による家屋の被害を抑えるために、日頃から家の周りの点検や整備を行いましょう。

外壁

- モルタルの壁に亀裂はありますか？

屋根・雨どい

- 瓦や屋根材が破損や剥離はありますか？
- 雨どいにはゴミや木の葉は詰まっていますか？

ベランダ

- 排水溝や排水口は詰まっていますか？
- ベランダの排水は、下水管の詰まりを防ぐために、定期的に清掃していますか？

ブロック

- 壁や柱の基礎が腐食や劣化はありますか？
- 基礎のコンクリートが剥離や劣化はありますか？

排水溝

- 排水溝が詰まっていますか？
- 排水溝の掃除は定期的に行っていますか？

窓

- 窓枠の腐食や劣化はありますか？
- 窓ガラスが割れたり、剥離はありますか？

その他

- 電気配線が腐食や劣化はありますか？
- ガス配管が腐食や劣化はありますか？
- 火災保険の加入状況を確認していますか？

在宅避難する場合のリスクを確認しましょう。

❖ 大規模水害時、自宅にとどまった場合

※大規模水害とは、高潮や複数河川の氾濫により5 m以上の浸水や2週間以上の浸水継続するような被害がある場合です。

2階に避難しても
浸水の可能性があるため、
とても危険です。

2週間以上、電気・ガス・トイレ等が
使えなくなる可能性があります。



要配慮者がいる場合

※要配慮者：歩行が困難で、公共交通機関を利用し
ての避難もできない方。

下記のような状況が2週間以上続いてしまう可能性があります。

- 急病の場合、医師に診てもらえない
- 現在、療養中の方は、薬が届かない・透析ができない
- 医療機器が使用できなくなる等、命の危険にさらされる

3階以上に避難して **取り残されると**

衛生環境が悪く、物資が届かない中、2週間以上も孤立生活を送らなければいなくなる可能性があります。

使えなくなる可能性があります



河川の氾濫によって浸水すると、ライフライン(電気・ガス・上下水道・電話など)が使えなくなり、イラストのように生活するのは困難になります。

そのため、浸水しない安全な地域に避難する必要がありますが、自宅にとどまらざるを得ない場合には、水や食料のほか、ライフラインの途絶に向けた備蓄もおきましょう。

- LEDライト:LEDだと長く光り続けます。
- 卓上コンロ (ボンベも忘れずに):調理ができるほか、お湯を沸かして濡れタオルを作って身体を拭けば、お風呂の代わりにもなります。
- 簡易トイレ:トイレの水も流せなくなるため、簡易トイレが必要です。
- 発電機:卓上コンロのボンベで発電ができる、家庭向けの発電機もあります。病気や障害等で、電気が止まると生命の危険がある場合には、発電機の備蓄も検討してください。

① 車での避難は避けてください！

多くの方が車で避難すると、交通渋滞の原因となってしまいます。逃げ遅れて浸水すると動けなくなるので、特別な場合を除き、徒歩や公共交通機関等を利用して避難しましょう。

お身体が不自由な方を同乗させて、車で避難する場合には、避難情報（高齢者等避難）が出たらすぐに避難を開始しましょう。



② 危険な箇所は避けましょう

大雨が降ったときは、道路の低くなっているところや道路等の下をくぐる立体交差（アンダーパス）に水がたまるなど、危険な状態になります。避難経路にこのような場所がないか、日頃から確認しておきましょう。



③ 障害のある方やお年寄りなどの避難に協力を

障害のある方やお年寄り、乳幼児、妊婦などの要配慮者は、早めの避難が必要です。要配慮者の方々が利用する施設では、避難に協力者の手助けが必要な場合もあります。地域で協力しながら、避難の声掛けや避難所への避難支援をしましょう。

要配慮者利用施設はこちら

地域防災計画>資料編>風水害編>要配慮者利用施設

<https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1004028/1000063/1004029/1030356/1004826.html>



④ 万が一、逃げ遅れた場合には

何らかの理由で逃げ遅れてしまい、浸水しない安全な地域まで避難する時間がない場合には、近くの高い建物に避難しましょう。

区では、区内を流れるいずれの河川が氾濫しても、浸水しないフロアを確保できる施設を、洪水緊急避難建物として指定をしています。建物の入口には、ピクトグラムプレートを掲示しています。

また、区では東京都や独立行政法人都市再生機構（UR）、東京都住宅供給公社（JKK）と協定や覚書を締結しているため、共有部分に緊急避難をすることもできます。

（都営住宅128棟 UR67棟 JKK2棟）



❖ 避難所ルール

避難所へ避難する場合は、避難者同士で助け合い、避難所のルールを守りながら円滑な運営にご協力をお願いします。

高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦、外国人などの災害時要配慮者への配慮をお願いします。

開設・受付

避難所は共助で運営

避難所は地域の自治町会で構成された避難所運営会議と避難者が協力し合って運営しますので、積極的なご協力をお願いします。



ペット用品は持参

犬、猫などのペット類は避難所ごとに決められた場所で持参したケージ等に入れ、飼育いたくださいお願いします。



避難者の登録

避難所への避難者及び在宅避難者は世帯(家族)単位で登録します。在宅避難者の方で、物資の配給を希望される方も必ず登録してください。



避難中

避難当日の食料等は持参

区の備蓄品は河川が氾濫し、避難の長期化が見込まれる場合に使用するため、原則として、避難当日の食料・水の配布は行いません。

避難当日に使用する食料や水、生活用品などは必ずご持参ください。



食料・物資等の提供

食料・物資等は原則として全員に公平に提供できるようになってから配布します。不足する場合は、子ども、妊産婦、病気の方を優先して配布します。

自分で受け取りに来るのが難しい方は運営ボランティアがお手伝いします



安全・適切な施設利用

職員室や保健室など、施設管理や避難者全員のために必要となる部屋や被害があって危険な部屋には避難できません。



立入禁止等の張り紙や避難所運営者の指示には従う

トイレの清潔な使用

トイレは、使用ルールを守って清潔に使用してください。

トイレは避難者等が交代で清掃

浸水した場合、トイレが使用できなくなりますので、簡易トイレ・携帯トイレなどの備蓄をしておきましょう。



感染症対策

感染症流行時は拡大防止のため、検温やマスクの着用などを行うとともに、混雑しないよう十分な距離を確保して避難生活を送ってください。



閉鎖

常に最新情報を確認

葛飾区内で雨が止んでも上流部に降った雨によって、河川の水位は上昇します。気象情報や河川の水位情報の最新情報を確認し、区の避難指示が解除されるまでは避難施設にとどまってください。



避難所の清掃

使用した部屋の清掃は、避難者が行います。また、ごみは原則として持ち帰りとなります。避難が長期化した場合は、指定された場所に分別して各自出すこととなります。



地震の際、避難所は被災者支援の拠点となりますので、避難所への避難者だけではなく、在宅避難者の支援も行います。しかし、水害時には孤立して支援を受けられない可能性もあるため、あらかじめ食料や生活用品等の準備をお願いします。



❖ 日頃からの心得



いざという時のために、日頃から避難の際に持ち出すものを整理したり、避難の手順について、家族や地域の方と話し合っておきましょう。



① 避難先や避難経路を確認しておきましょう

ハザードマップを見て、どの河川が氾濫しそうなどときには、自分の住んでいる地域では、どこへ避難すれば良いのか、確認しておきましょう。

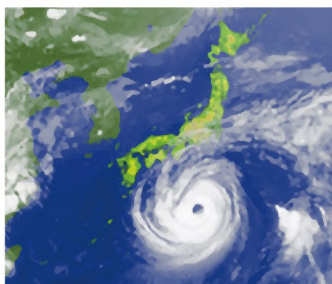
また、徒歩や公共交通機関等での避難経路についても確認しておきましょう。



② 非常時持出品を準備しておきましょう

46～47ページのチェックリストを参考にして、避難する際の非常時持出品をリュックサック等に入れて、準備しておきましょう。

水害時だけでなく、地震時にも活用することができます。



③ 台風や大雨等の情報に注意をしましょう

台風が接近している際等には、テレビやラジオ等で気象情報を確認してください。

また、14～15ページを参考にして、河川の水位や気象警報・注意報等の情報収集もしてください。

❖ 避難情報の入手方法

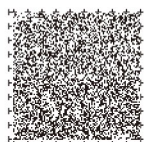


◆ 正しい情報の入手方法を知っておきましょう

葛飾区では避難情報を発令した際には、夕焼け小焼けの放送を流している防災行政無線でサイレンをならしたり、区内の携帯電話に一斉にメールを配信する等して、お知らせをします。サイレンやメールで区が避難情報を発令したことに気が付いたら、区の公式ホームページで詳しい避難情報の内容を確認してください。

インターネットを利用できない場合は、NHK、J:COMなどのテレビをご覧になるか、ラジオでかつしかFM(78.9MHz)を聞くか、区役所にお電話でお問い合わせください。

葛飾区役所 ☎ 03-3695-1111 (代表)



● 防災行政無線

緊急・災害情報などを迅速に伝達するため、区内131か所に屋上スピーカーを設置しています。

防災行政無線で放送した内容は、区ホームページでご覧になれるほか、電話やアプリで確認することができます。

☎ 0800-800-0657 (フリーダイヤル)



かつらッパ (防災行政無線確認用アプリ)



iOS



Android

● 電話やファクスで災害情報をお届けします (スピーキャン)

区では、高齢や障害などの理由により、防災行政無線やホームページなどから情報を得づらい方などを対象に、大規模災害時に区が発令する避難情報を電話・ファクスで伝達します。情報の伝達には、事前の登録が必要です。希望される対象者の方がいましたら、危機管理課までご連絡ください。

連絡先 危機管理課計画係

☎ 03-5654-8572

ファクス 03-5698-1503

● 葛飾区ホームページ

<https://www.city.katsushika.lg.jp>

区の非常時の対応や態勢、災害情報、注意報・警報などの気象情報をお知らせします。

ホームページがつながりにくい場合には、SNSでも同様の情報を発信していますので、SNSをご確認ください。

● SNS (ソーシャルネットワークサービス) を利用した、災害情報の提供

▼ 葛飾区 Facebook (フェイスブック)

<https://www.facebook.com/katsushika.city>

▼ 葛飾区 X (エックス:旧ツイッター)

@katsushika_city

▼ 葛飾区 LINE (ライン)

@katsushika_city

● 葛飾区安全・安心情報メール

大規模災害発生時の緊急情報など、防災や防犯に関する情報を携帯電話やパソコンなどに配信します。

利用には事前登録が必要です。

【登録方法】

パソコン

区ホームページ

(サイト内検索:安全・安心情報メール) から。

携帯電話・スマートフォン・タブレット端末

下記の宛先に空メールを送ると登録内容の返信メールが届きますので、案内に従って入力してください。

機種によっては登録できない場合があります。



▼ メールマガジン登録用受付アドレス
katsushika@katsushika-mail.jp

● スマートフォン・携帯電話への一斉メール

区内全域に発信します。受信時には、警告音でお知らせします。(登録は不要です。)

● かつしかFM (78.9MHz)

区との協定に基づき、災害情報を音声でお知らせします。



● J:COM東葛・葛飾 (地上デジタル放送11チャンネル)

区との協定に基づき、災害情報を映像でお知らせします。また、区の防災広報番組を製作し、放送しています。

【注意!】 視聴には事前の加入が必要です。

【問い合わせ】

J:COM東葛・葛飾

☎ 0120-914-000 (午前9時~午後6時)

川の防災情報等のホームページで、河川の水位を公開しています

水位観測所
 河川カメラ
 雨量観測所

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

荒川 利根川 利根川 新中川 江戸川



dボタン



◆ 大雨・洪水・高潮に関する注意報・警報（気象庁が発表します）

大雨による危険が迫った場合、気象庁から「注意報」「警報」が発表されます。警報の基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合は、「特別警報」が発表されます。

警報級の現象が5日先までに予想されているときには、その可能性を「早期注意情報（警報級の可能性）」として[高]、[中]の2段階で発表されます。大雨に関して、翌日までの期間に[高]または[中]が予想されている場合は、災害への心構えを高める必要があるとされる警戒レベル1となります。

※「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります。

大雨・洪水・高潮注意報	大雨・洪水・高潮警報	大雨・高潮特別警報
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	「警報」よりもはるかに高い危険度
大雨 大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表。 洪水 河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水により洪水害が発生するおそれがあると予想したときに発表。 高潮 台風や低気圧等による異常な潮位上昇により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表。 洪水 河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水や氾濫により重大な洪水害が発生するおそれがあると予想したときに発表。 高潮 台風や低気圧等による異常な潮位上昇により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表。 高潮 数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合に発表。 ※「洪水」は、あらかじめ指定した河川の水位等を示した洪水の予報（指定河川洪水予報）を発表しており、特別警報の設定はありません。

▼ 葛飾区の気象警報・注意報 - 気象庁

検索ワード：葛飾区 気象警報

<https://www.jma.go.jp/bosai/>

⇒ 葛飾区の気象警報・注意報の発表状況や、5日先までの早期注意情報（警報級の可能性）を確認できます。



◆ さらに詳しい河川・気象情報等の入手先（インターネットサイト）

▼ 川の防災情報 - 国土交通省

検索ワード：川の防災情報 国土交通省

<https://www.river.go.jp/>

⇒ 国土交通省にて観測している降雨量や河川水位情報等をリアルタイムで確認できます。



▼ 東京都 水防災総合情報システム - 東京都建設局

検索ワード：水防災総合情報システム

<https://www.kasen-suibo.metro.tokyo.lg.jp/>

⇒ 東京都にて観測している降雨量や河川水位情報等をリアルタイムで確認できます。



▼ 葛飾区の天気 - 葛飾区

検索ワード：葛飾区の天気 ダッシュボード <https://katsushika-city.bosai.info/ui/dashboard>

⇒ 葛飾区の気象警報・注意報の発表状況や、これからの天気を確認できます。



❖ 区民のみなさんがとるべき行動

避難情報や防災情報は、状況に応じて下の表のとおり発表されます。また、大規模水害が起きる可能性がある場合、江東5区共同で水害の発生が想定される48時間前から広域避難の情報を発表します。(42ページ参照)

避難情報は必ずしもこの順番で発令されるとは限りません。また、これらの情報が発令されていなくても危険を感じたら避難するなど、適切な行動をとってください。

警戒レベル	とるべき行動	避難情報等	避難情報等の発表の 基準となる水位（イメージ）
警戒レベル5	すでに災害が発生しているか切迫した状況なので、屋内への避難など直ちに命を守る行動をとる（垂直避難等）	緊急安全確保	(河川側) 氾濫危険水位 避難判断水位 氾濫注意水位
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~			
警戒レベル4	浸水しない地域へ速やかに避難する（水平避難等）	避難指示	
警戒レベル3	高齢者等は避難を開始する。 その他の人は避難準備をする。	高齢者等避難	
警戒レベル2	ハザードマップを見て、避難に備えた避難行動を確認する。	注意報	
警戒レベル1	天気予報等を見て、災害への心構えを高める。	早期注意情報（警報級の可能性）	

**高齢者等避難(警戒レベル3)が発令されたら、高齢者等の避難に時間がかかる方は避難開始!**

**避難指示(警戒レベル4)が発令されたら、全員避難開始!**

区内を流れる河川の水位が上昇して、氾濫する可能性が高まった場合には、浸水するおそれがある地域を対象に、避難情報を発令します。

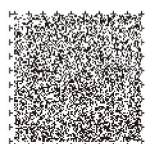
※区内で大雨が降っていなくても、河川の氾濫が発生することもありますので、区からの避難情報に従って、避難行動をとってください。

どの河川が氾濫しそうかによって、避難が必要な地域や、避難する場所も異なります。

避難情報を発令した際には、併せて開設した避難所についてもお知らせをします。

警戒レベル3の高齢者等避難は、早ければ氾濫が発生する半日から1日程前には発令します。安全な場所まで避難していただく十分な時間はありますので、落ち着いて避難を開始してください。

※緊急安全確保(警戒レベル5)はすでに災害が発生・切迫しており命の危険がある状態であるとともに、区が災害の状況を確実かつ直ちに把握できるものではない等の理由により、必ず発令される情報ではないことから、緊急安全確保(警戒レベル5)を待つことなく、避難指示(警戒レベル4)までに避難することが必要です。

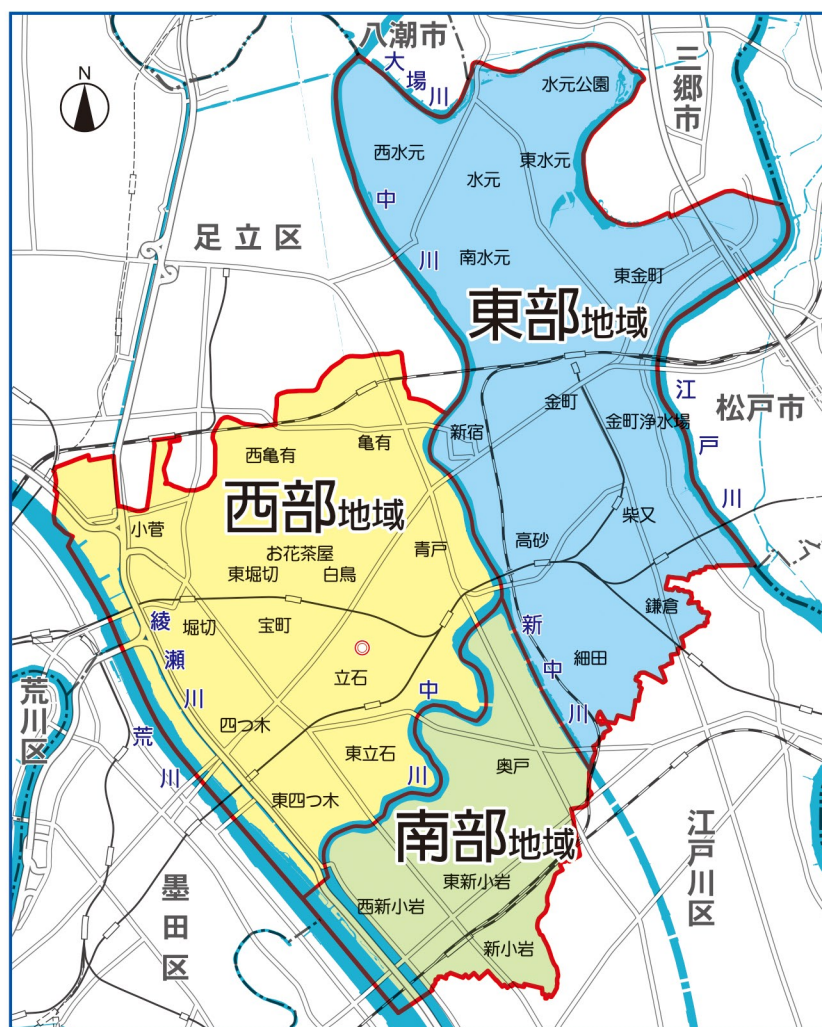




## 第4章 地域別の浸水リスクや避難行動について

### ❖ 地域別の浸水リスクについて

葛飾区内でも地域によって浸水リスクは異なります。自分の住む地域では、どの河川が氾濫しそうときには、どのような避難行動をとれば良いのか、確認しましょう。



#### 西部地域の対象区域

お花茶屋、小菅、青戸、  
白鳥、宝町、堀切、東堀切、  
立石、東立石、亀有、  
西亀有、四つ木、  
東四つ木

⇒ 18～21ページ

#### 東部地域の対象区域

奥戸9丁目、鎌倉、金町、  
高砂(1丁目を除く)、  
細田(2丁目を除く)、  
柴又、新宿、水元、西水元、  
東金町、東水元、南水元

⇒ 21～24ページ

#### 南部地域の対象区域

奥戸(9丁目を除く)、  
高砂1丁目、細田2丁目、  
新小岩、西新小岩、  
東新小岩

⇒ 25ページ

洪水の浸水想定マップには、計画規模(※)と、1000年以上に1度の規模の大雨によって洪水が起きた場合を想定した想定最大規模の2種類があります。

※荒川・江戸川・利根川の計画規模降雨は、およそ200年に1度の規模の大雨  
中川・綾瀬川の計画規模降雨は、およそ100年に1度の規模の大雨 となっています。

ハザードマップは、全ての破堤点(堤防が決壊すると想定したところ)の予想結果を重ね合わせて作成されています。18～25ページでは、特定の破堤点での浸水想定を図も例示して、各地域の浸水リスクについて説明しています。

### コラム

#### 計画規模降雨と想定最大規模降雨

平成30年7月豪雨(西日本豪雨)では、広島県、岡山県、愛媛県を中心に69か所で48時間の雨量が100年に1度の規模を超える大雨となりました。令和元年東日本台風(台風第19号)でも、関東甲信越地方や東北地方の84か所で12時間の雨量が、63か所で24時間の雨量が100年に1度の規模を超え、全国で大きな被害が発生しました。

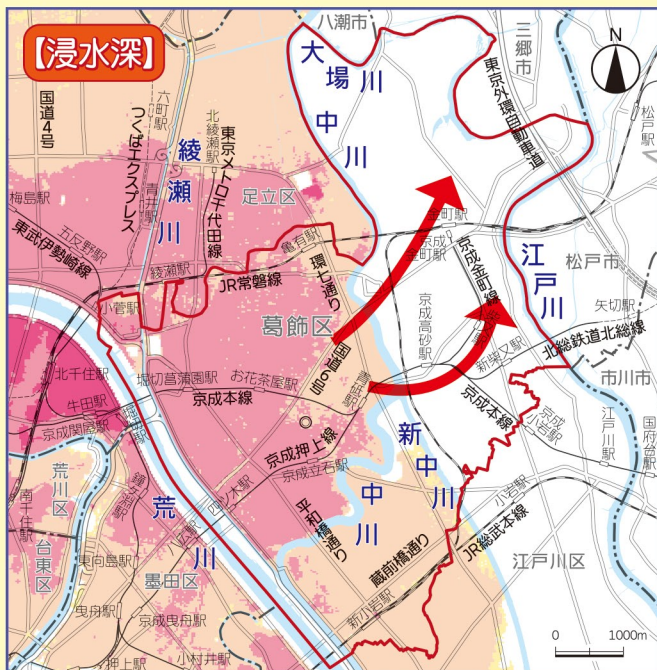
葛飾区周辺では治水事業が進んで洪水のリスクは軽減していますが、今後の気候変動の影響などにより、**想定最大規模の大雨によって河川が氾濫した場合の被害想定や避難方法についても、確認しておきましょう。**



## ❖ 西部地域 の浸水リスク（荒川氾濫時の避難方法）

### 荒川浸水想定区域図（3日間総雨量516mm）

※計画規模（およそ200年に1度の規模の大雨）



およそ200年に1度の規模の大雨によって荒川が氾濫しても、西部地域は浸水しない想定となっています。西部地域の方は、東部地域の避難所等に避難しましょう。

**西部地域** 荒川が氾濫しても、破堤箇所によっては、西部地域は浸水しない場合もあります。

しかし、どこで破堤するかは分かりませんので、荒川の水位が高まって氾濫するおそれがある場合には、浸水しない安全な地域まで避難する必要があります。

### 芝川・新芝川浸水想定区域図（2日間総雨量839mm）

※想定最大規模（1000年以上に1度の規模の大雨）



#### 凡 例

浸水深（計画規模、想定最大規模）

- 5m以上の区域
- 3m以上 5m未満の区域
- 0.5m以上 3m未満の区域
- 0.5m未満の区域

葛飾区周辺の拡大図



埼玉県内を流れる芝川・新芝川（荒川の支流）が氾濫すると、その氾濫水は1日後ぐらいに小菅1丁目に到達するおそれがあります。浸水すると1日以上、浸水が解消しないかもしれません。芝川・新芝川の氾濫によって区が避難情報を発令した場合には、開設されている避難所等に避難してください。



## ❖ 西部地域 の浸水リスク(中川氾濫時の避難方法)

# 中川浸水想定区域図 (2日間総雨量355mm)

※計画規模(およそ100年に1度の規模の大雨)



## 凡 例

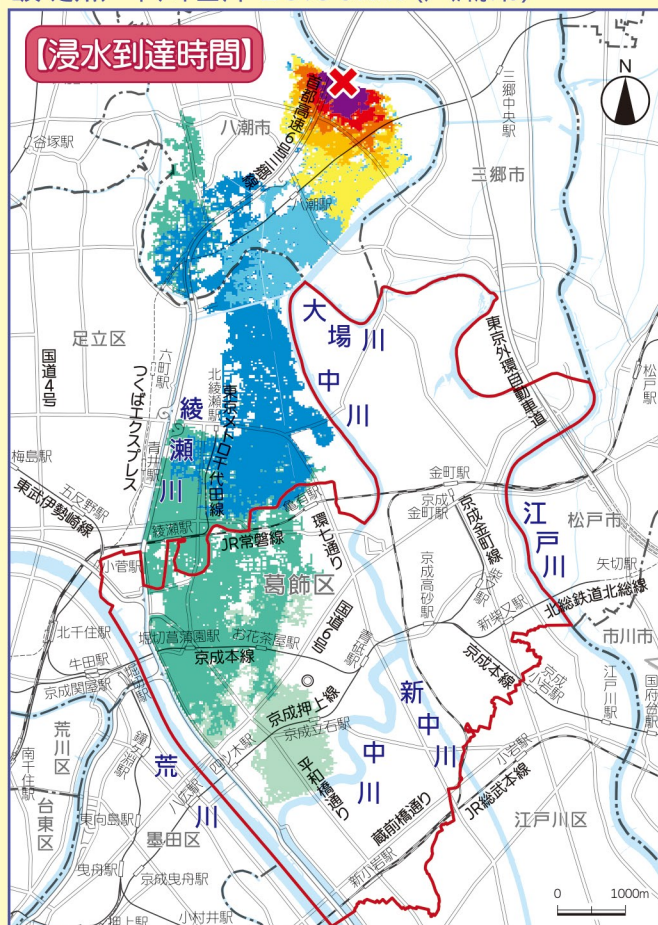
浸水深(計画規模)

- 5m以上の区域
- 3m以上 5m未満の区域
- 0.5m以上 3m未満の区域
- 0.5m未満の区域



およそ100年に1度の規模の大雨によって中川が氾濫しても、東部地域や南部地域は浸水しない想定となっています。西部地域の方は、東部地域や南部地域の避難所等に避難しましょう。

破堤点: 中川右岸 23.50km (八潮市)



## 凡 例

浸水到達時間(計画規模)

- 0分以上 30分未満
- 30分以上 1時間未満
- 1時間以上 2時間未満
- 2時間以上 3時間未満
- 3時間以上 6時間未満
- 6時間以上 12時間未満
- 12時間以上 1日未満
- 1日以上 2日未満
- 2日以上
- 破堤点

区内の中川の堤防は、十分な高さが整備されていますが、上流部の埼玉県内には堤防高が十分ではない箇所もあります。そのため、中川の水位が高まっているときには、上流部で氾濫が起こり、約1日後ぐらいに区内にも氾濫水が到達する可能性が高くなっています。

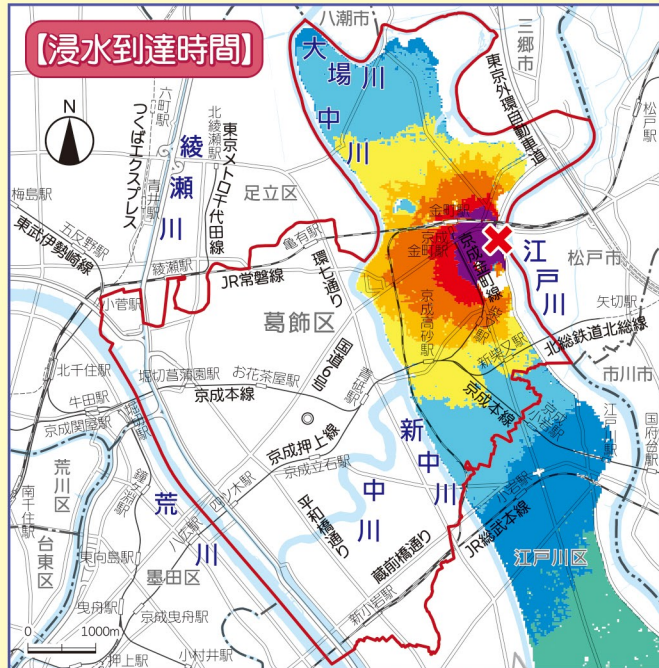


## ❖ 西部地域 の浸水リスク(江戸川氾濫時の避難方法)

### 江戸川浸水想定区域図(3日間総雨量336mm)

※計画規模(およそ200年に1度の規模の大雨)

破堤点:江戸川右岸17.50km(新葛飾橋付近)



破堤点:江戸川右岸19.50km(水元公園付近)



江戸川が計画規模の大雨によって区内で氾濫しても、西部地域は浸水しない想定となっています。

### 凡例

浸水到達時間(計画規模)

0分以上 30分未満	6時間以上 12時間未満
30分以上 1時間未満	12時間以上 1日未満
1時間以上 2時間未満	1日以上 2日未満
2時間以上 3時間未満	2日以上
3時間以上 6時間未満	

× 破堤点

西部地域

江戸川は、吉川市等の上流部で氾濫すると、西部地域の広域で浸水するおそれがあります。ただし、江戸川の氾濫水が西部地域に到達するのは、早い地域でも10時間近くかかります。氾濫水の到達が遅い地域では、2~3日程度かかります。

破堤点:江戸川右岸31.00km(吉川市)



江戸川が氾濫しても、浸水しない安全な地域まで避難する時間の猶予があります。区からの情報に従って、落ち着いて避難してください。

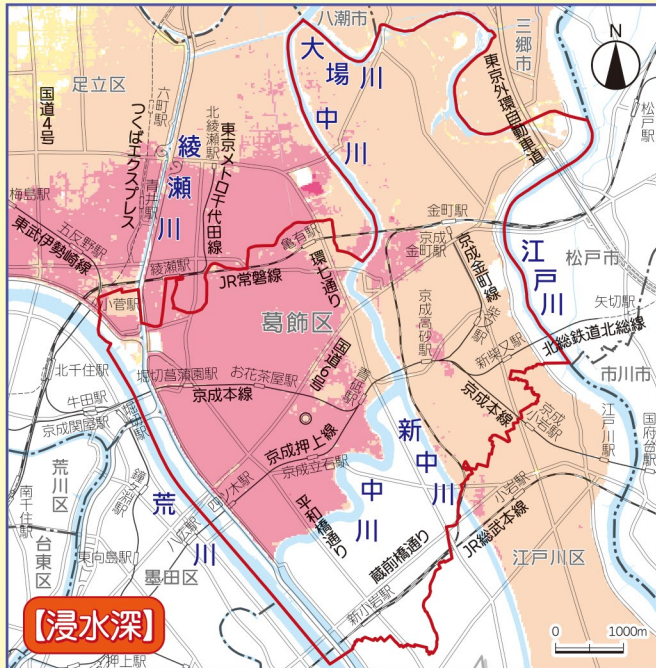


## ❖ 西部・東部地域 の浸水リスク (利根川氾濫時の避難方法) ❖

## 利根川浸水想定区域図 (3日間総雨量336mm)

※計画規模 (およそ200年に1度の規模の大雨)

破堤点: 利根川右岸133.5km (栗橋付近) 西部地域及び東部地域が最も深く浸水する河川の洪水



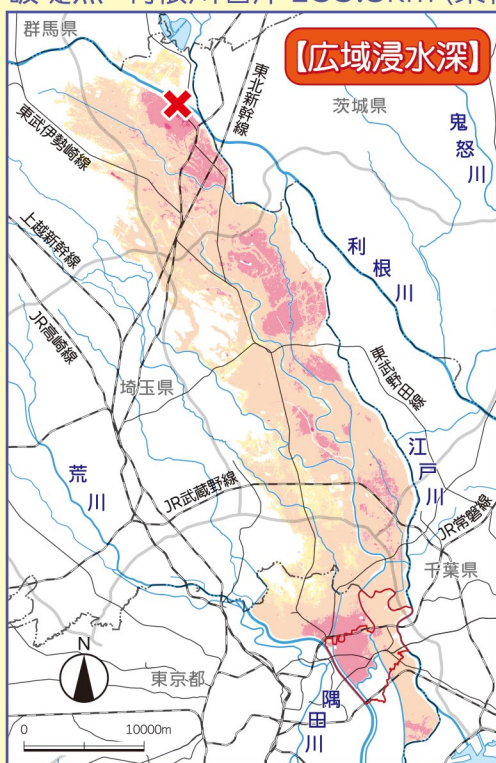
葛飾区内の浸水深が最も深くなるのは、利根川の洪水想定の場合です。利根川が決壊した場合、氾濫水の到達は早い地域でも24時間、遅い地域では2日以上かかります。この浸水想定では、東部地域も西部地域と同じ水害リスクがあります。

## 凡 例

浸水到達時間 (計画規模)

- 12時間以上 1日未満
- 1日以上 2日未満
- 2日以上

破堤点: 利根川右岸133.5km (栗橋付近)



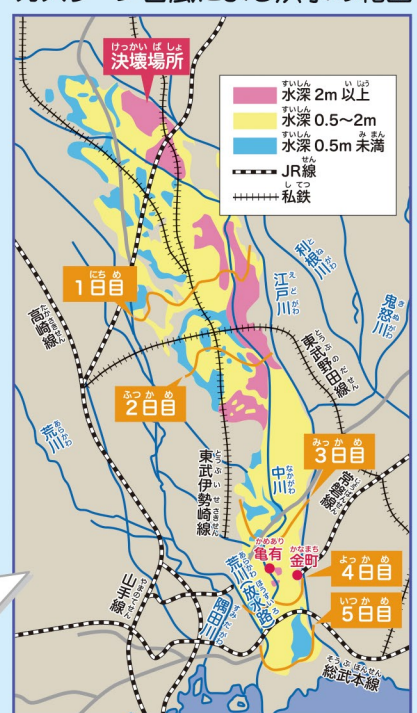
## 凡 例

浸水深 (計画規模)

- 5m以上の区域
- 3m以上 5m未満の区域
- 0.5m以上 3m未満の区域
- 0.5m未満の区域
- ✕ 破堤点

1947 (昭和22) 年9月のカスリーン台風による被害では、利根川が決壊により葛飾区全域が浸水しました。令和元年台風19号でも利根川中流域では洪水発生の可能性がありました。

カスリーン台風による洪水の範囲



出典: 子ども葛飾区史 (平成29年)

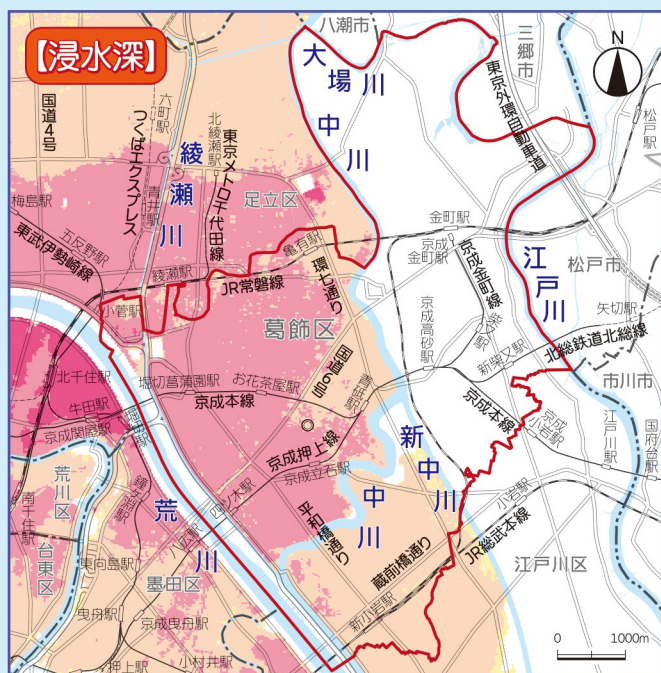


## ❖ 東部地域 の浸水リスク(荒川氾濫時の避難方法)



### 荒川浸水想定区域図 (3日間総雨量516mm)

※計画規模(およそ200年に1度の規模の大雨)



およそ200年に1度の規模の大雨によって荒川が氾濫しても、荒川の氾濫水は、中川・新中川に阻まれて、東部地域は浸水しない想定になっています。

#### 凡 例

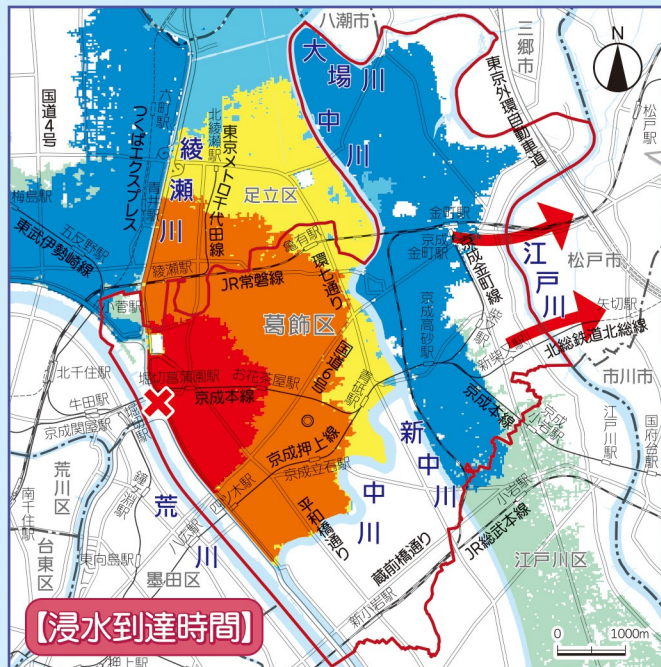
浸水深(計画規模)

- 5m以上の区域
- 3m以上 5m未満の区域
- 0.5m以上 3m未満の区域
- 0.5m未満の区域

### 荒川浸水到達時間図 (3日間総雨量632mm)

※想定最大規模(1000年以上に1度の規模の大雨)

破堤点: 荒川左岸 10.50km (京成本線橋梁部)



1000年以上に1度の規模の大雨によって、荒川が堀切菖蒲園駅近くの京成本線橋梁部で氾濫した場合、東部地域まで浸水が到達するおそれがあります。ただし、氾濫水が中川・新中川を越えて、東部地域まで到達するまで、半日程度かかります。

#### 凡 例

浸水到達時間(想定最大規模)

- 1時間以下
- 1時間超過 3時間以下
- 3時間超過 6時間以下
- 6時間超過 12時間以下
- 12時間超過 1日以下
- 1日超過 2日以下
- 破堤点

荒川の氾濫によって、万が一、東部地域が浸水する場合でも、すぐに氾濫水がおしよせてくるものではありません。荒川の水位が高まっている場合には、東部地域の方は落ち着いて自宅待機をされるか、心配な場合には、千葉方面の安全な地域への自主避難をしてください。

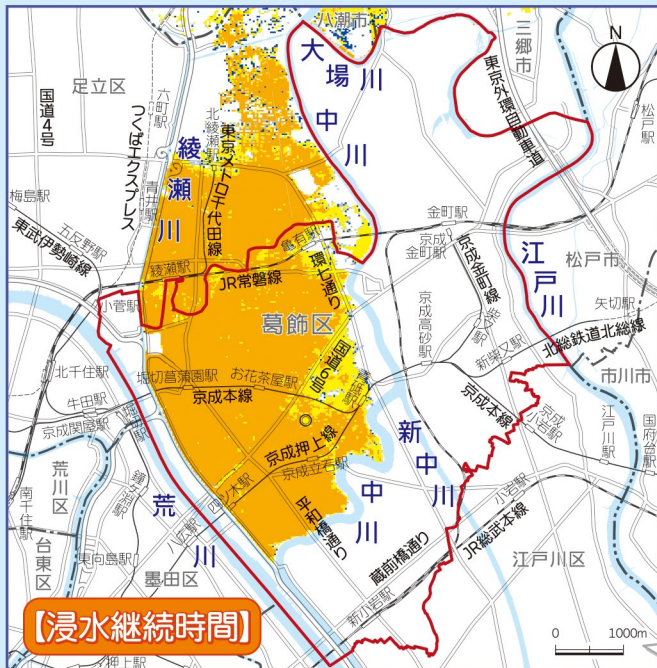




## ❖ 東部地域 の浸水リスク(中川氾濫時の避難方法)

### 中川浸水想定区域図(2日間総雨量355mm)

※計画規模(およそ100年に1度の規模の大雨)

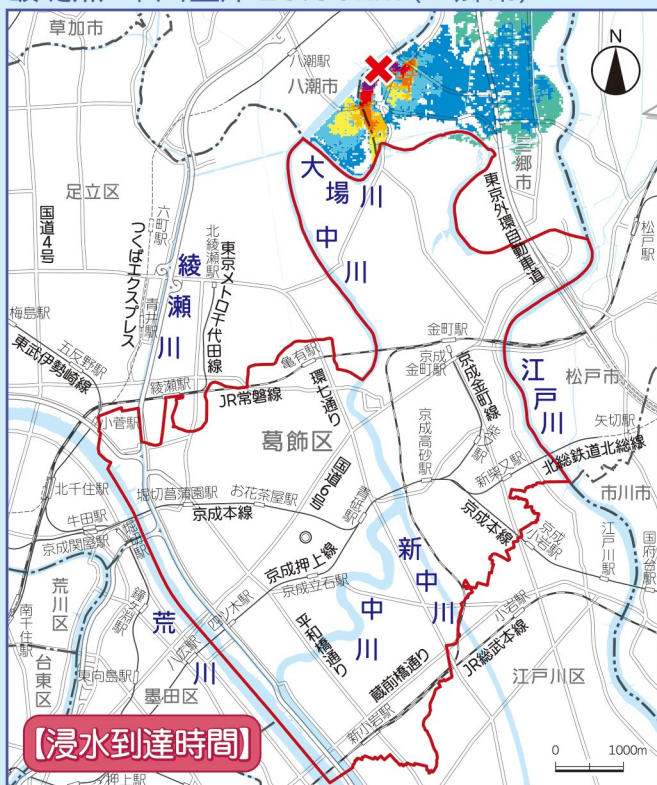


#### 凡 例

浸水継続時間(深さ0.5m以上)

3日以上	1週間未満
1日以上	3日未満
12時間以上	1日未満
12時間未満	

破堤点:中川左岸 20.00km(三郷市)



#### 凡 例

浸水到達時間(計画規模)

0分以上 30分未満	6時間以上 12時間未満
30分以上 1時間未満	12時間以上 1日未満
1時間以上 2時間未満	1日以上 2日未満
2時間以上 3時間未満	2日以上
3時間以上 6時間未満	
×	破堤点

計画規模の大雨によって中川が氾濫しても、東部地域は浸水しない想定となっています。上流部の埼玉県内で中川が氾濫しても、氾濫水は大場川でせき止められるため、東部地域は浸水しません。

中川の上流部には、堤防の高さが十分でない箇所がありますが、区内の中川の堤防は十分な高さがあるため、中川は上流部の埼玉県内で氾濫する可能性が高くなっています。中川の水位が高くなっても、区内で堤防が決壊するリスクは低くなっていますので、ご安心ください。





## ❖ 東部地域 の浸水リスク(江戸川氾濫時の避難方法)

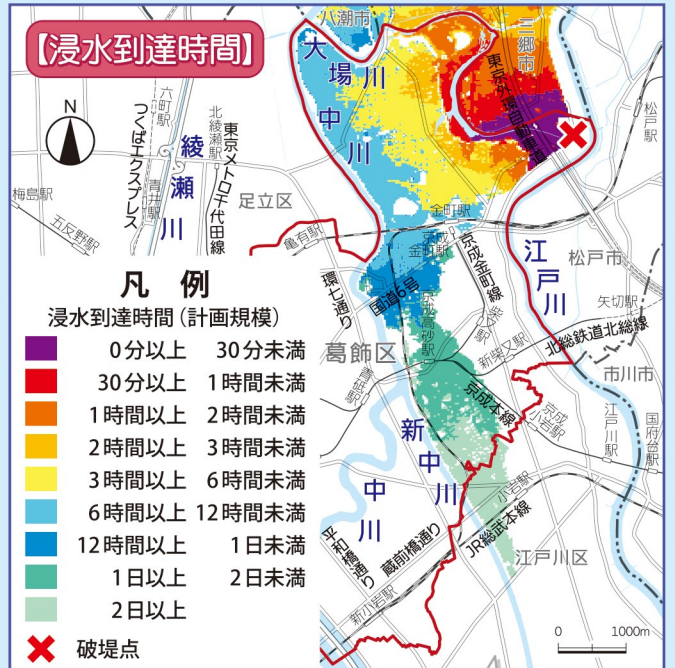
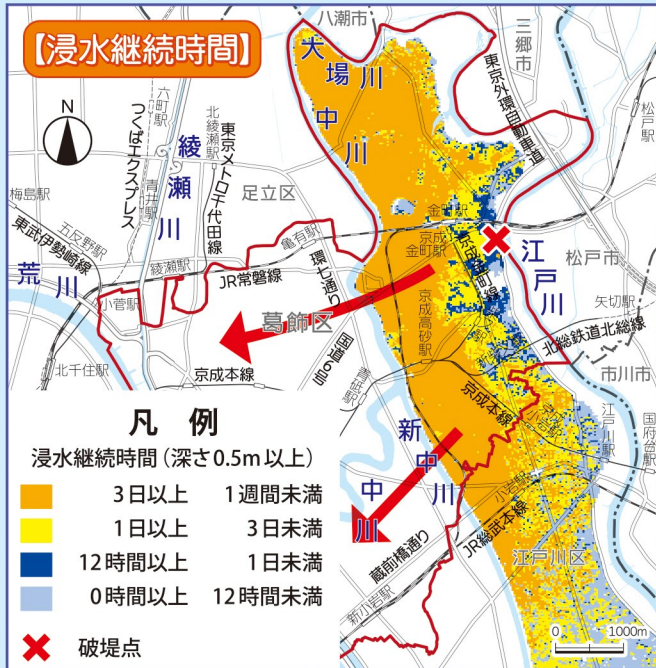
### 江戸川浸水想定区域図(3日間総雨量336mm)

※計画規模(およそ200年に1度の規模の大雨)

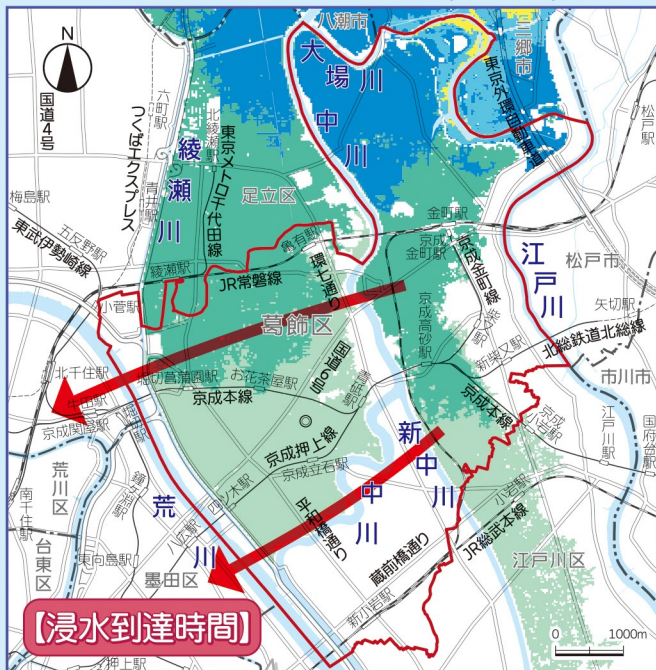
東部地域

破堤点:江戸川右岸17.50km(新葛飾橋付近)

破堤点:江戸川右岸19.50km(水元公園付近)



破堤点:江戸川右岸31.00km(吉川市)



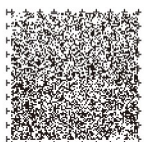
計画規模の大雨で江戸川が区内で氾濫すると、東部地域は広い範囲で浸水してしまいますが、西部地域や南部地域は浸水しません。東部地域の浸水継続時間は1週間近くになるおそれもありますので、浸水しない安全な地域まで避難しましょう。

破堤点:江戸川右岸29.00km(三郷市)



江戸川が、吉川市等の上流部で氾濫すると、西部地域だけでなく東部地域も広い範囲で浸水するおそれがあります。ただし、上流部からの氾濫水は、すぐに区内に押し寄せるものではありません。江戸川が氾濫して、東部地域が浸水するおそれがある場合には、区外に避難することもあり得ますが、避難するための時間の猶予はあります。

江戸川が上流部で氾濫しても、氾濫する箇所によっては、区内はほとんど浸水しないこともあります。

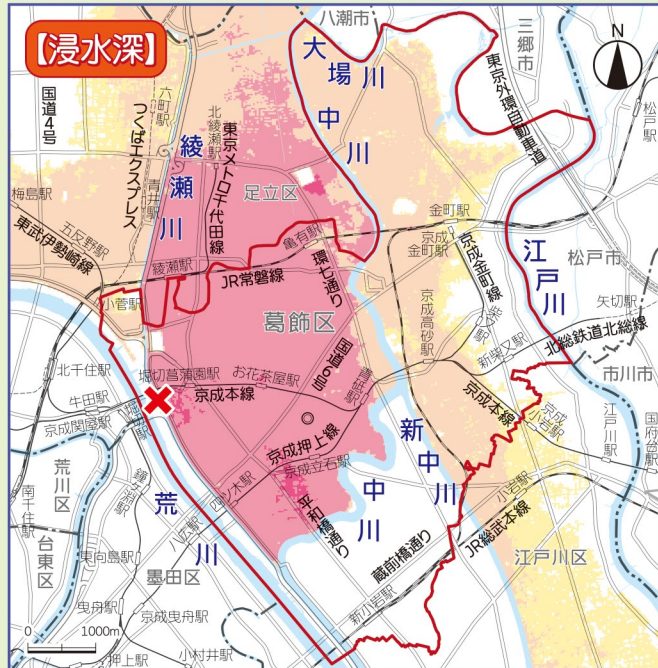




## ❖ 南部地域 の浸水リスク(荒川氾濫時の避難方法)

### 荒川浸水想定区域図 (3日間総雨量632mm) ※想定最大規模(1000年以上に1度の規模の大雨)

破堤点: 荒川左岸 10.50km (京成本線橋梁部)



#### 凡 例

浸水深 (想定最大規模)

- 5m以上の区域
- 3m以上 5m未満の区域
- 0.5m以上 3m未満の区域
- 0.5m未満の区域

✕ 破堤点

荒川は、堀切菖蒲園駅近くの京成本線橋梁部の堤防の高さが低くなっています。そのため、荒川の水位が高くなると、この箇所から水があふれてくるおそれがあります。ただし、ここから氾濫が発生しても、南部地域は浸水しません。

破堤点: 荒川左岸 6.00km (JR 総武線橋梁部)



#### 凡 例

浸水深 (想定最大規模)

- 5m以上の区域
- 3m以上 5m未満の区域
- 0.5m以上 3m未満の区域
- 0.5m未満の区域

✕ 破堤点

荒川が新小岩駅付近のJR 総武線橋梁部で氾濫した場合、南部地域の広い範囲で浸水してしまいます。

※荒川の水位が上昇して、南部地域に避難を呼びかける際には、西部地域にも避難を呼びかけているため、東部方面に避難しましょう。



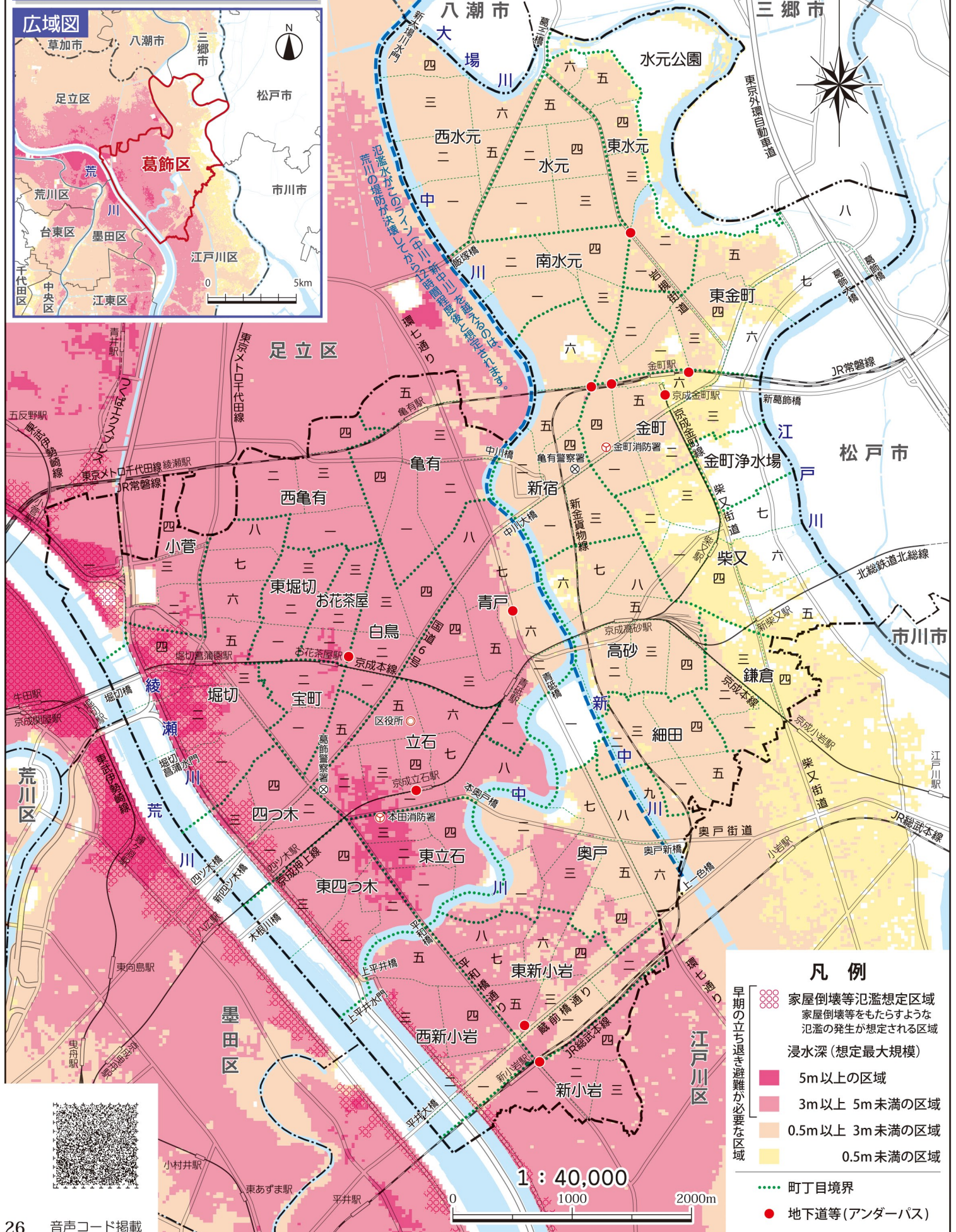
※中川や江戸川が氾濫しても南部地域は浸水しない想定となっています。



## 第5章 内水氾濫・外水氾濫が起きた場合の浸水状況

荒川浸水想定区域図  
想定最大規模【浸水深】

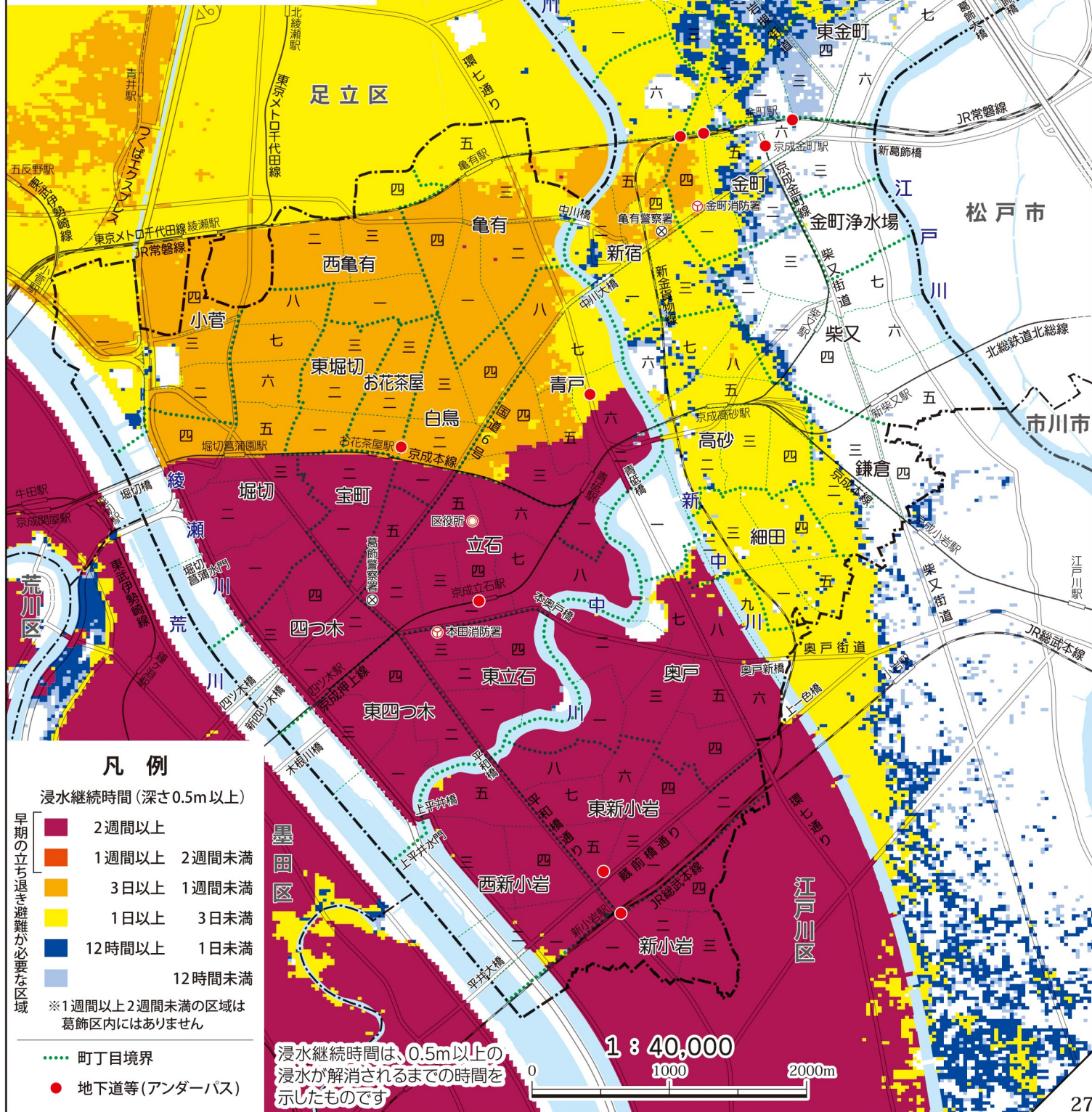
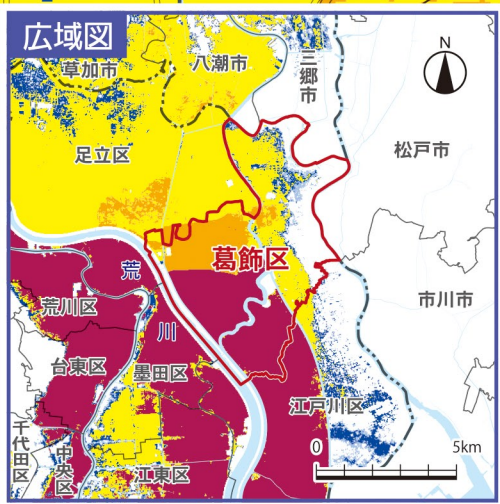
前提となる降雨量:荒川流域の72時間総雨量632mm  
(1000年以上に1度の規模の大雨)





前提となる降雨量：荒川流域の72時間総雨量632mm  
(1000年以上に1度の規模の大雨)

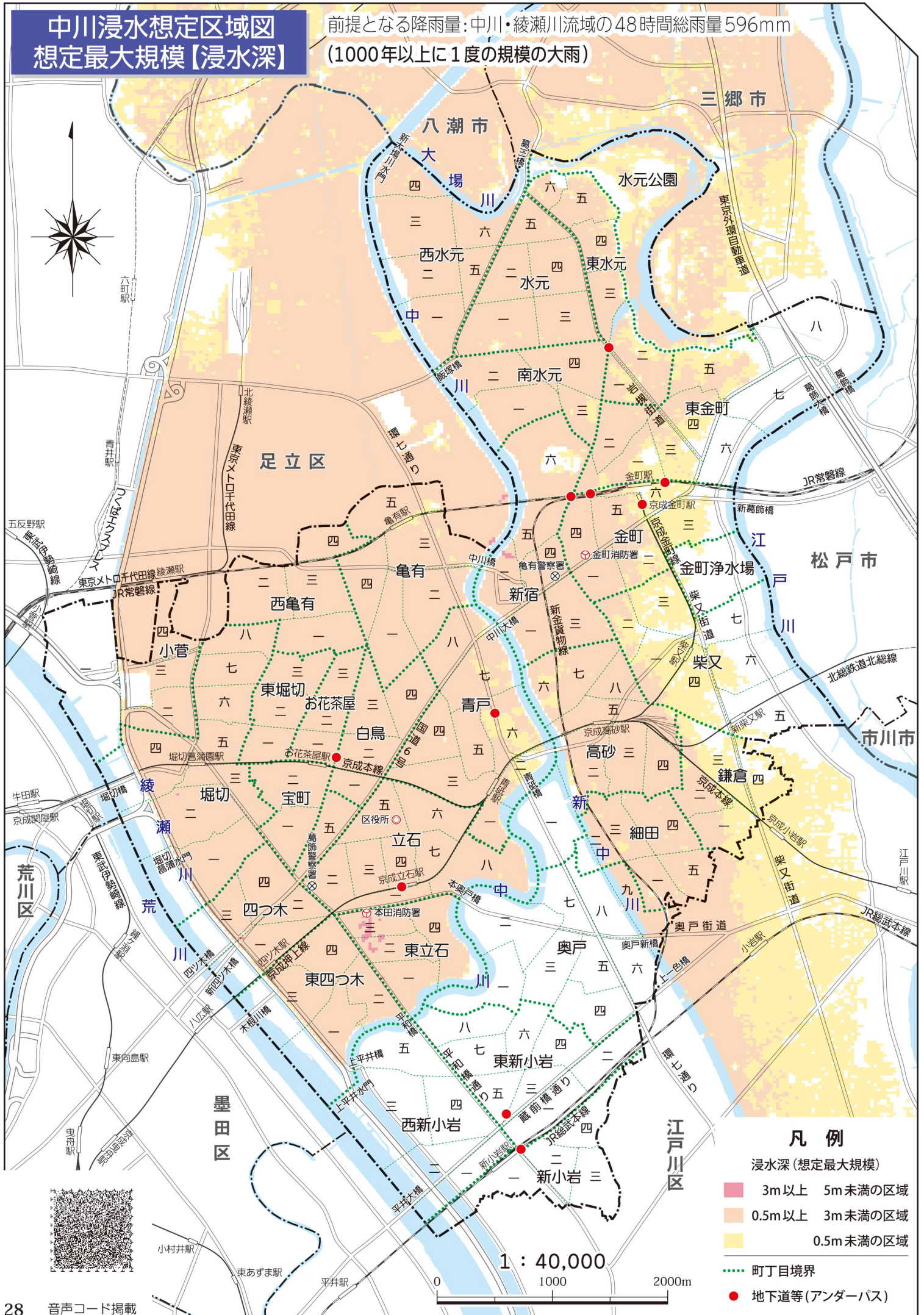
# 荒川浸水想定区域図 想定最大規模【浸水継続時間】





# 中川浸水想定区域図 想定最大規模【浸水深】

前提となる降雨量：中川・綾瀬川流域の48時間総雨量596mm  
(1000年以上に1度の規模の大雨)



- 凡 例**
- 浸水深(想定最大規模)
  - 3m以上 5m未満の区域
  - 0.5m以上 3m未満の区域
  - 0.5m未満の区域
  - 町丁目境界
  - 地下道等(アンダーパス)

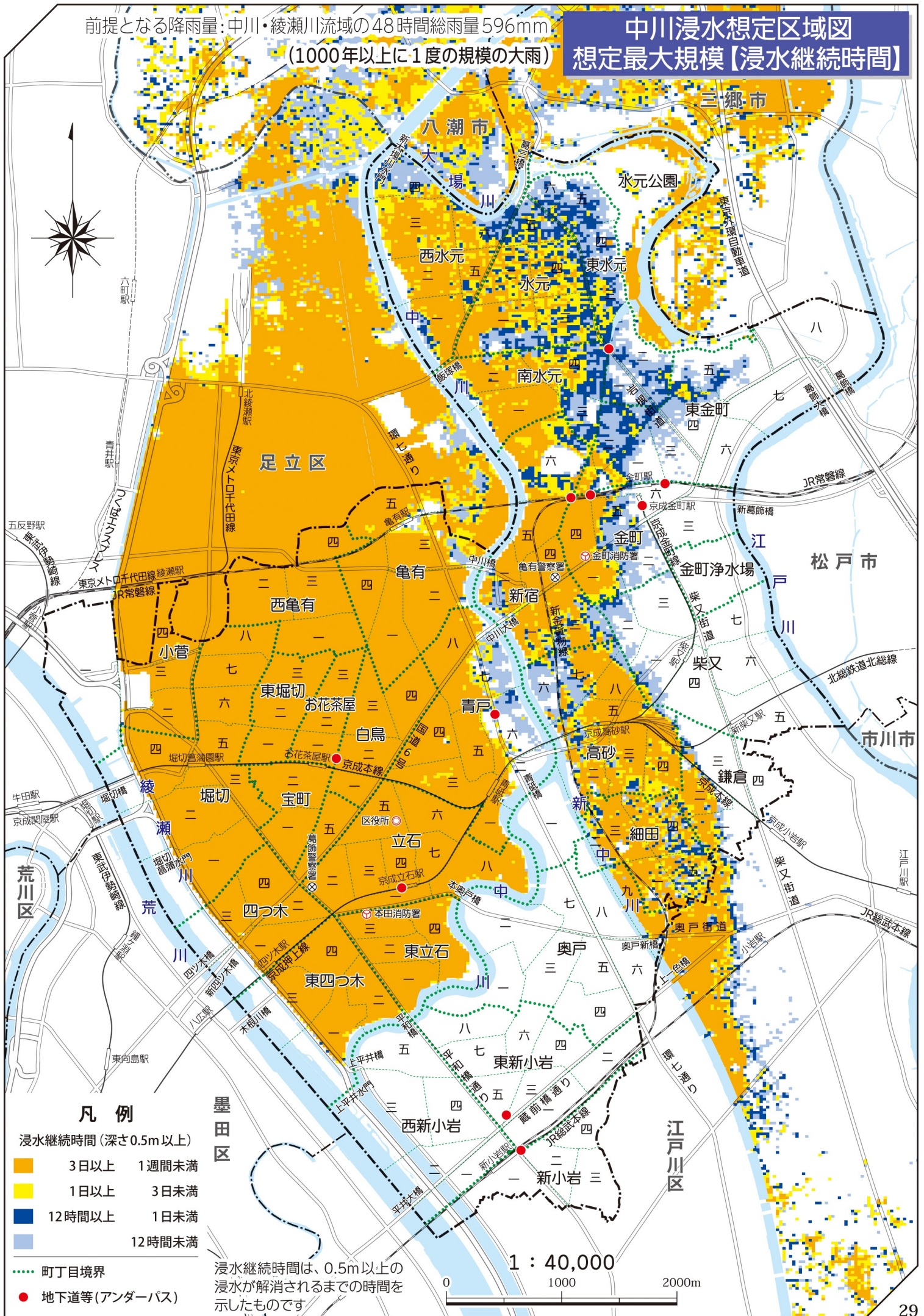
1 : 40,000

0 1000 2000m



前提となる降雨量：中川・綾瀬川流域の48時間総雨量596mm  
(1000年以上に1度の規模の大雨)

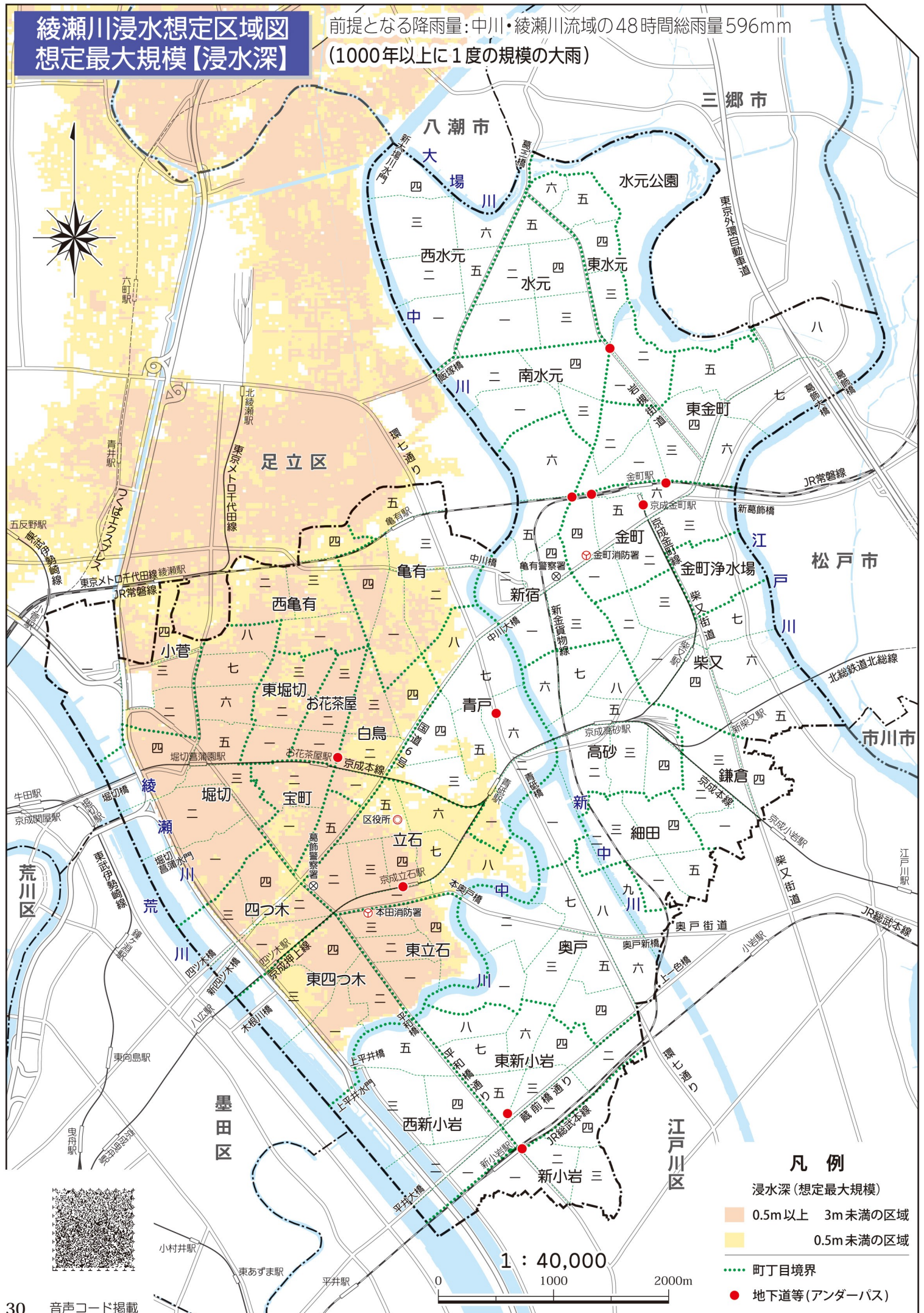
# 中川浸水想定区域図 想定最大規模【浸水継続時間】





# 綾瀬川浸水想定区域図 想定最大規模【浸水深】

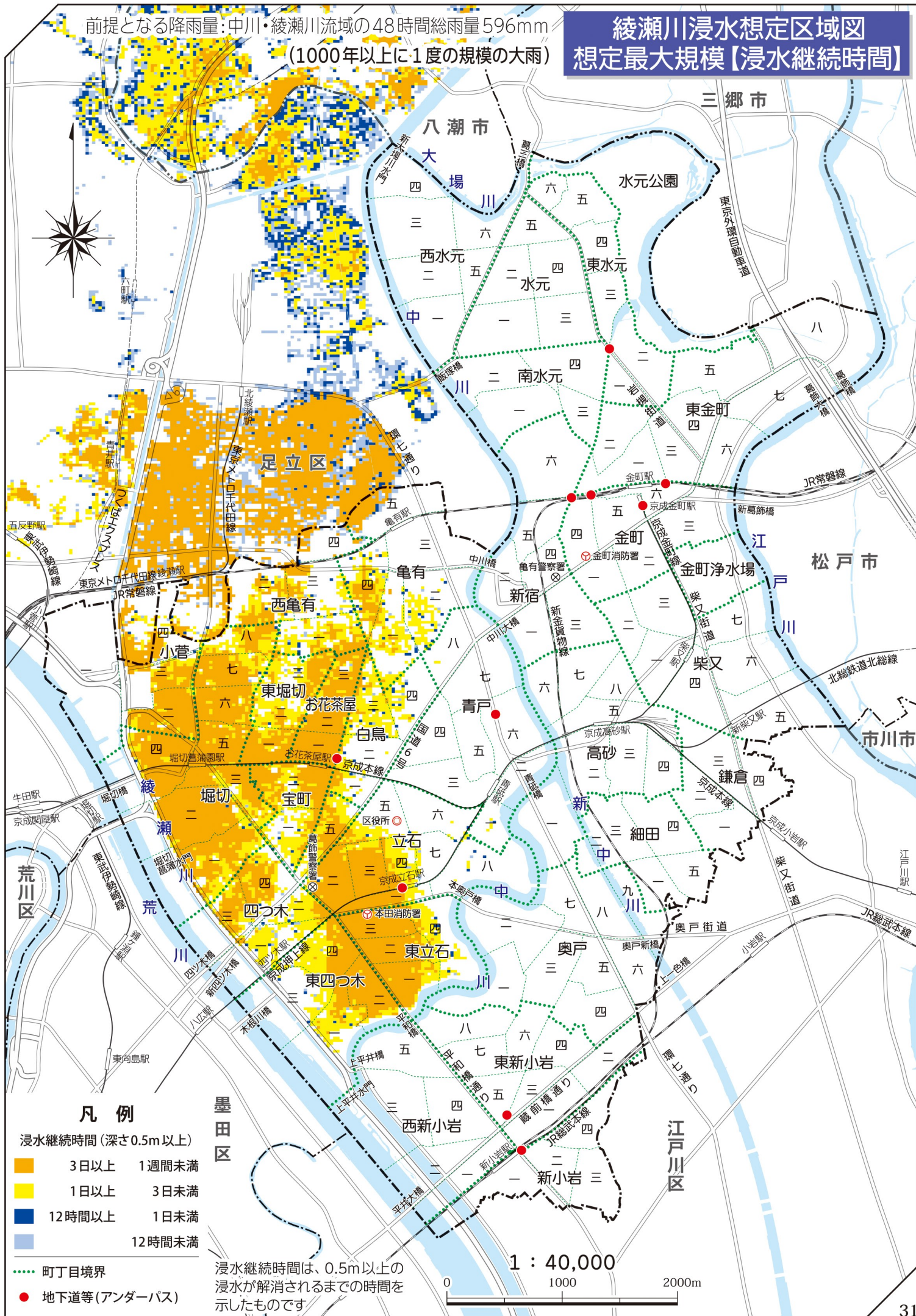
前提となる降雨量：中川・綾瀬川流域の48時間総雨量596mm  
(1000年以上に1度の規模の大雨)





前提となる降雨量：中川・綾瀬川流域の48時間総雨量596mm  
(1000年以上に1度の規模の大雨)

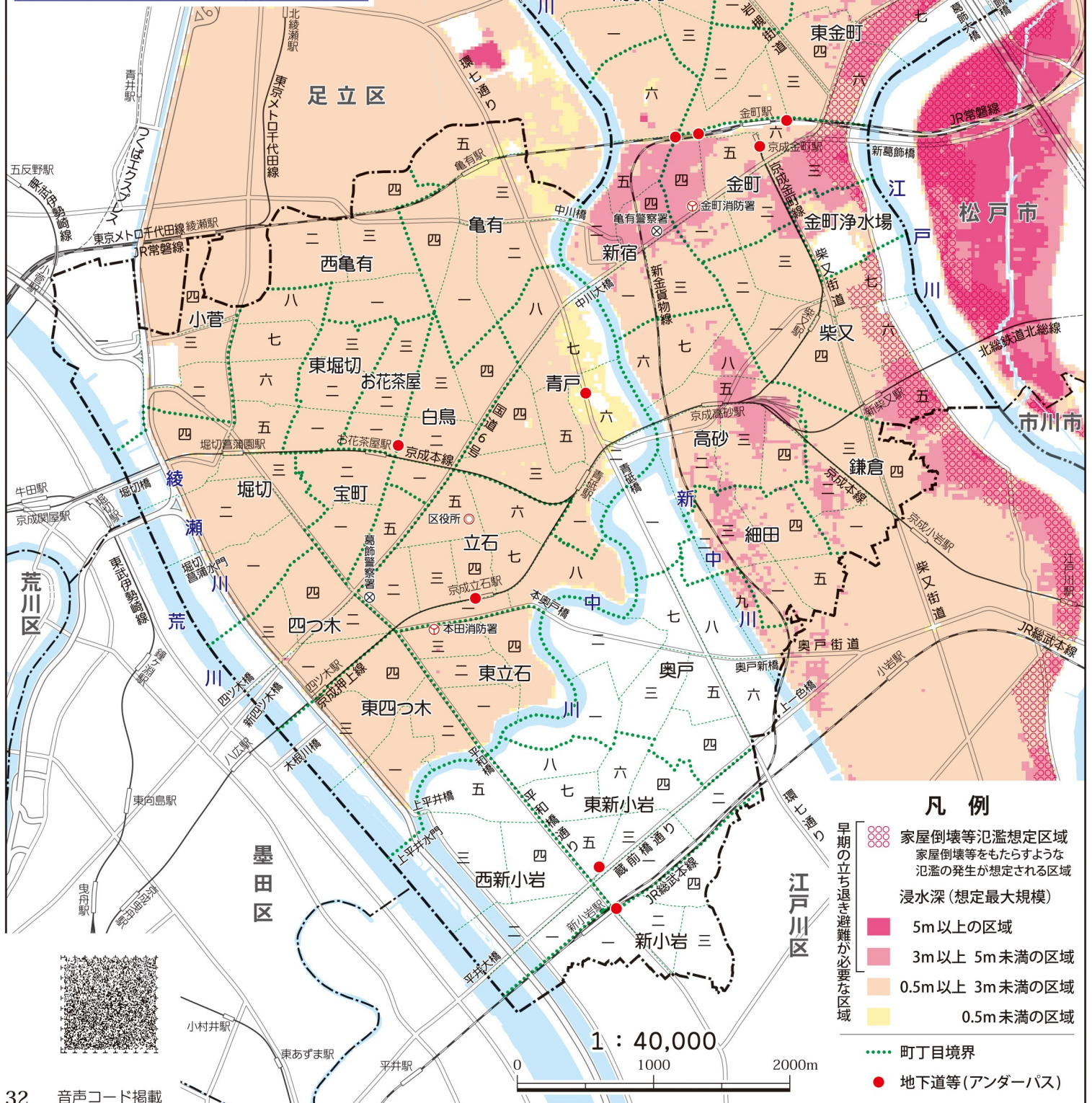
# 綾瀬川浸水想定区域図 想定最大規模【浸水継続時間】





# 江戸川浸水想定区域図 想定最大規模【浸水深】

前提となる降雨量：利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量491mm  
(1000年以上に1度の規模の大雨)



## 凡例

- 早期の立ち退き避難が必要な区域
- 家屋倒壊等氾濫想定区域  
家屋倒壊等をもたらすような  
氾濫の発生が想定される区域
- 浸水深 (想定最大規模)
- 5m以上の区域
- 3m以上 5m未満の区域
- 0.5m以上 3m未満の区域
- 0.5m未満の区域
- 町丁目境界
- 地下道等(アンダーパス)



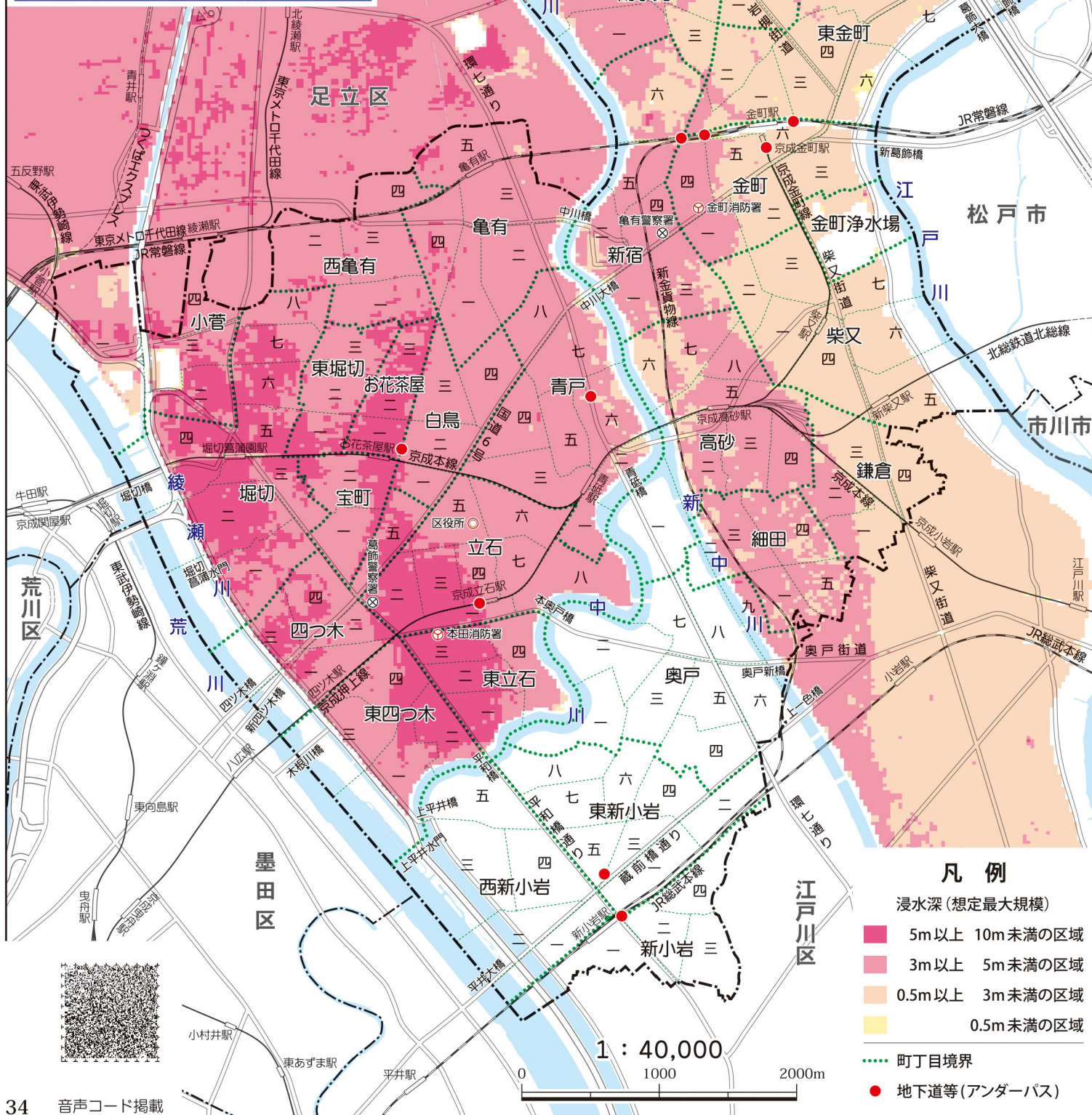
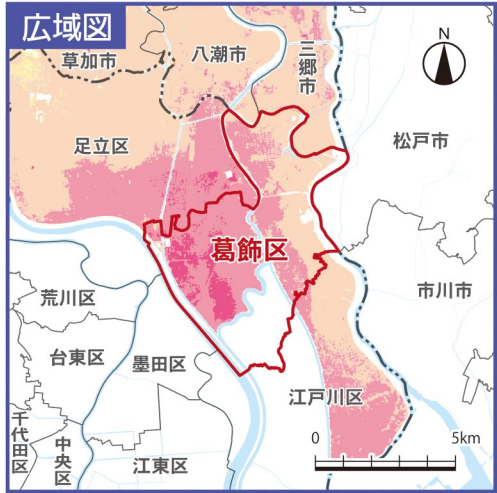
(1000年以上に1度の規模の大雨)





# 利根川浸水想定区域図 想定最大規模【浸水深】

前提となる降雨量：利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量491mm  
(1000年以上に1度の規模の大雨)



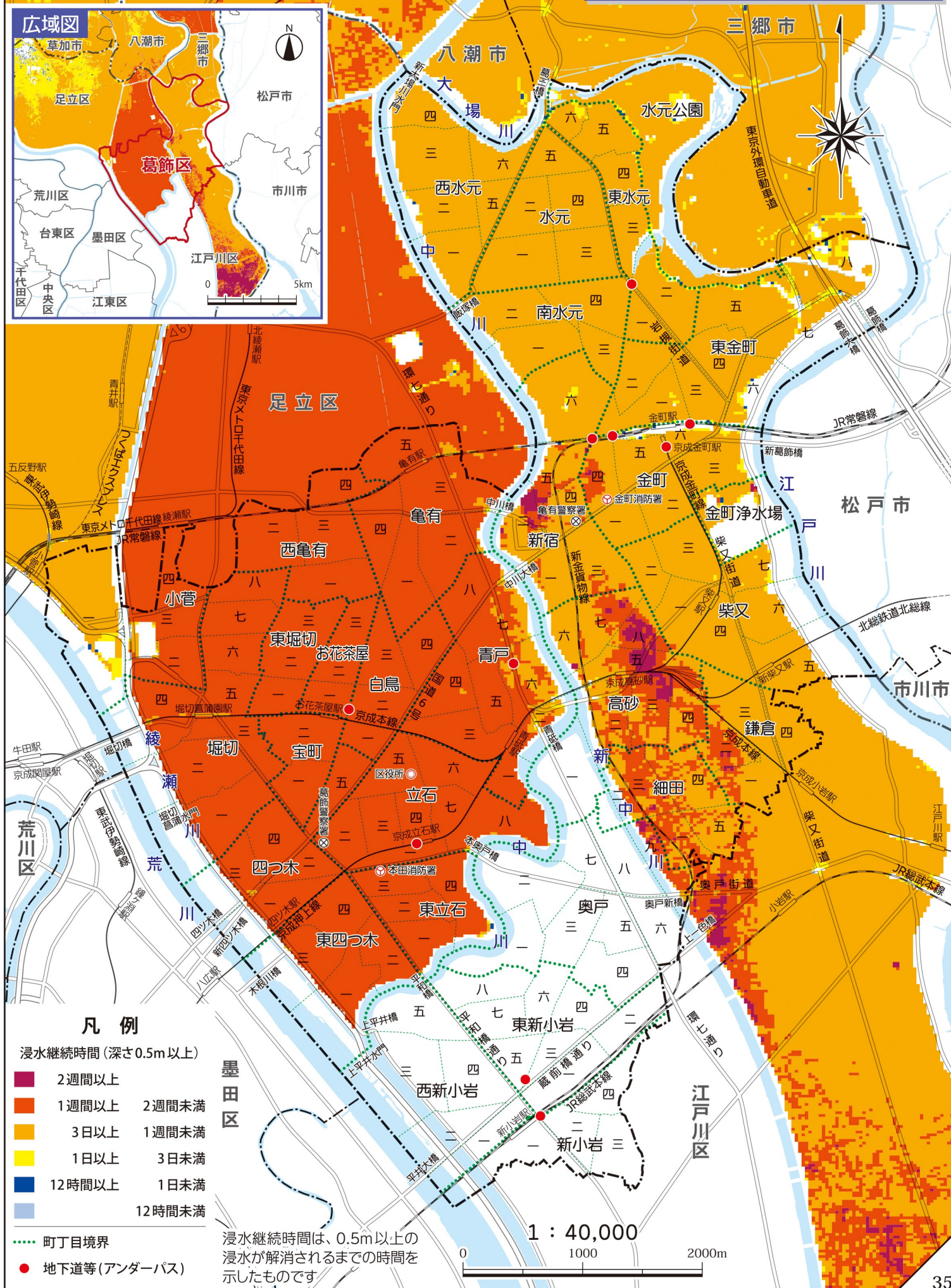
- 凡 例**
- 浸水深 (想定最大規模)
  - 5m以上 10m未満の区域
  - 3m以上 5m未満の区域
  - 0.5m以上 3m未満の区域
  - 0.5m未満の区域
  - 町丁目境界
  - 地下道等(アンダーパス)



前提となる降雨量:利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量491mm

(1000年以上に1度の規模の大雨)

# 利根川浸水想定区域図 想定最大規模【浸水継続時間】

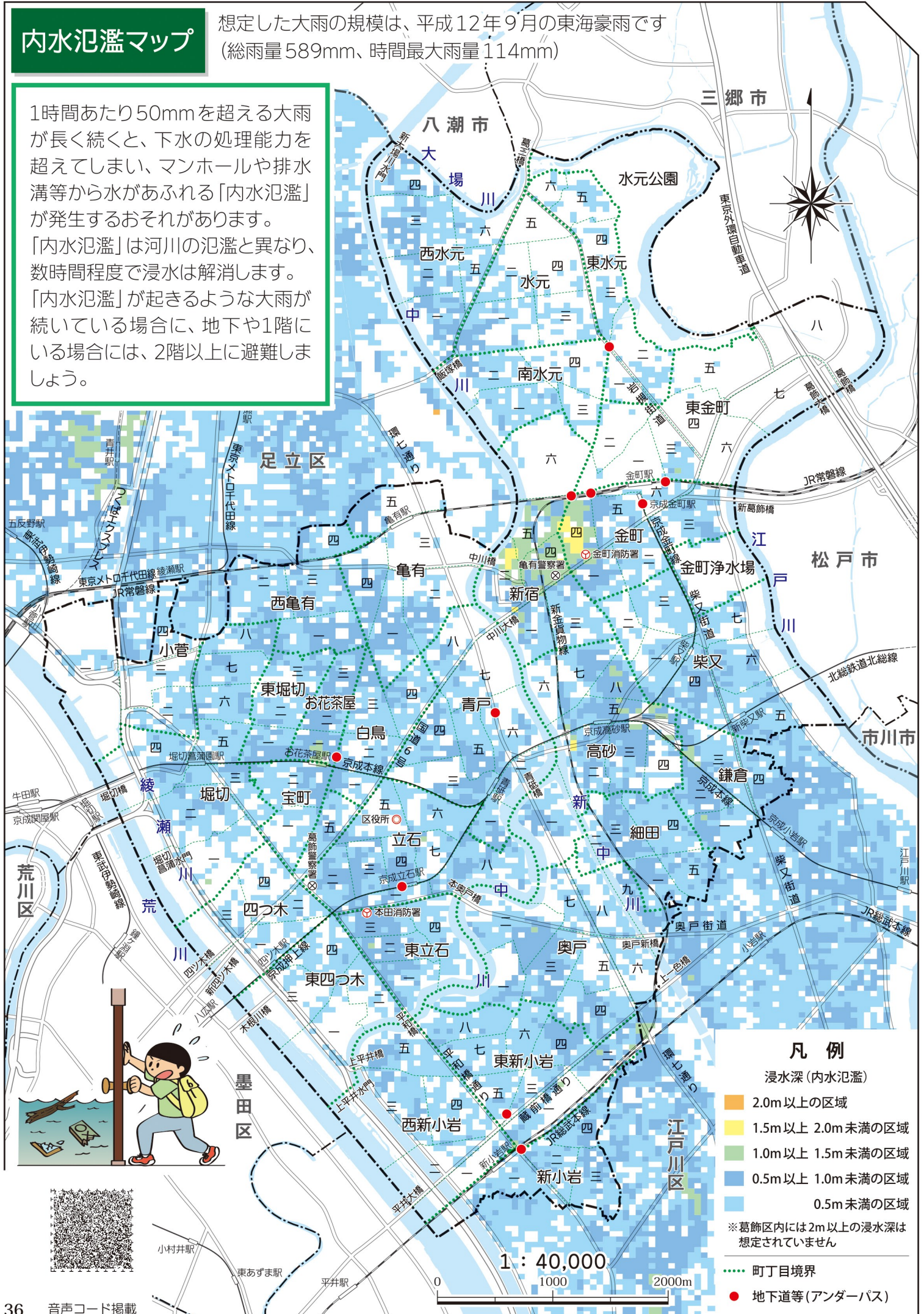




# 内水氾濫マップ

想定した大雨の規模は、平成12年9月の東海豪雨です  
(総雨量589mm、時間最大雨量114mm)

1時間あたり50mmを超える大雨が長く続くと、下水の処理能力を超えてしまい、マンホールや排水溝等から水があふれる「内水氾濫」が発生するおそれがあります。  
「内水氾濫」は河川の氾濫と異なり、数時間程度で浸水は解消します。  
「内水氾濫」が起きるような大雨が続いている場合に、地下や1階に  
いる場合には、2階以上に避難しましょう。

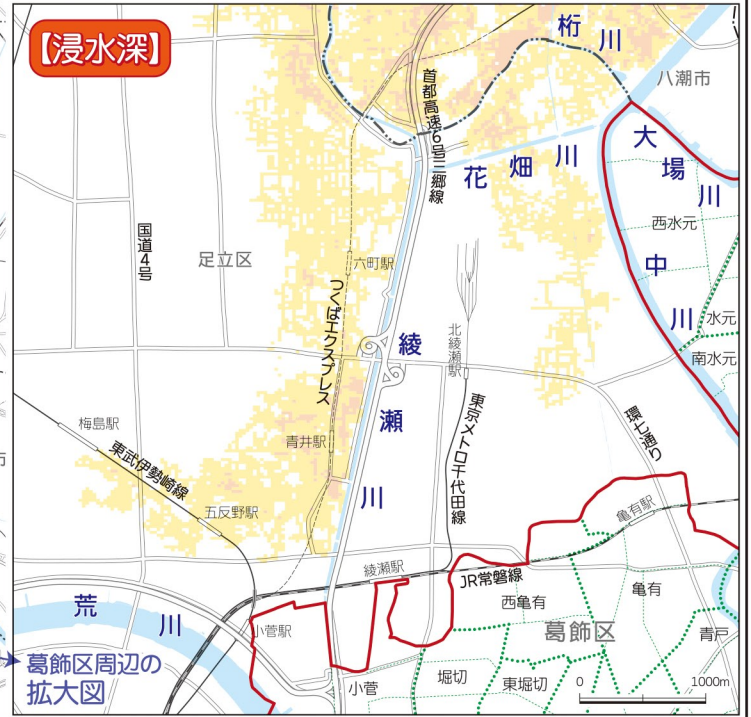
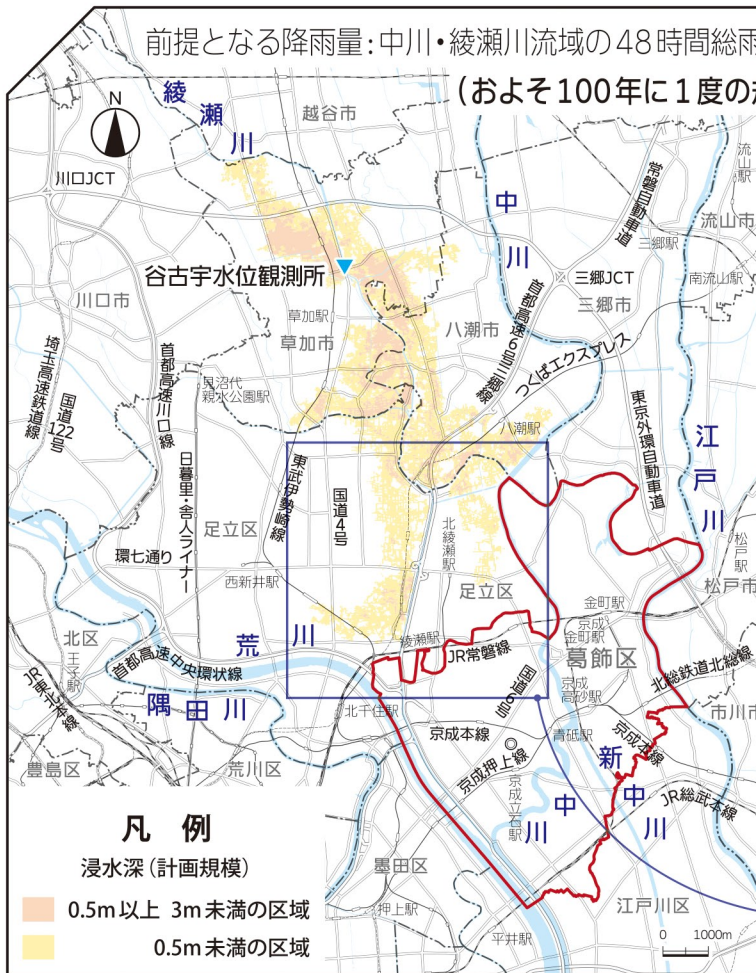




前提となる降雨量:中川・綾瀬川流域の48時間総雨量355mm  
(およそ100年に1度の規模の大雨)

## 綾瀬川浸水想定区域図 計画規模【浸水深】

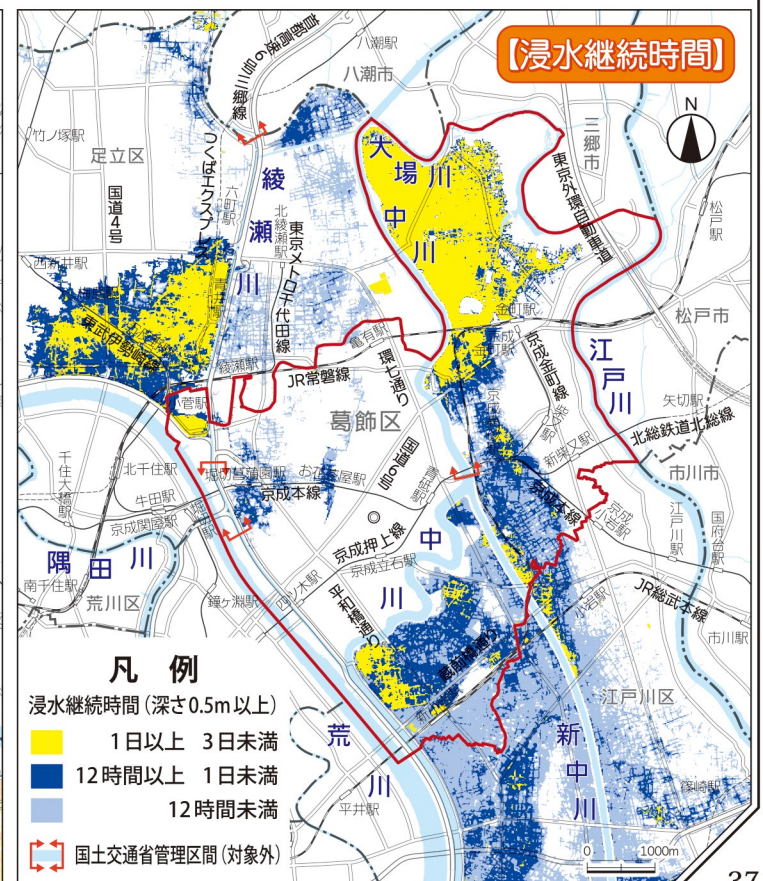
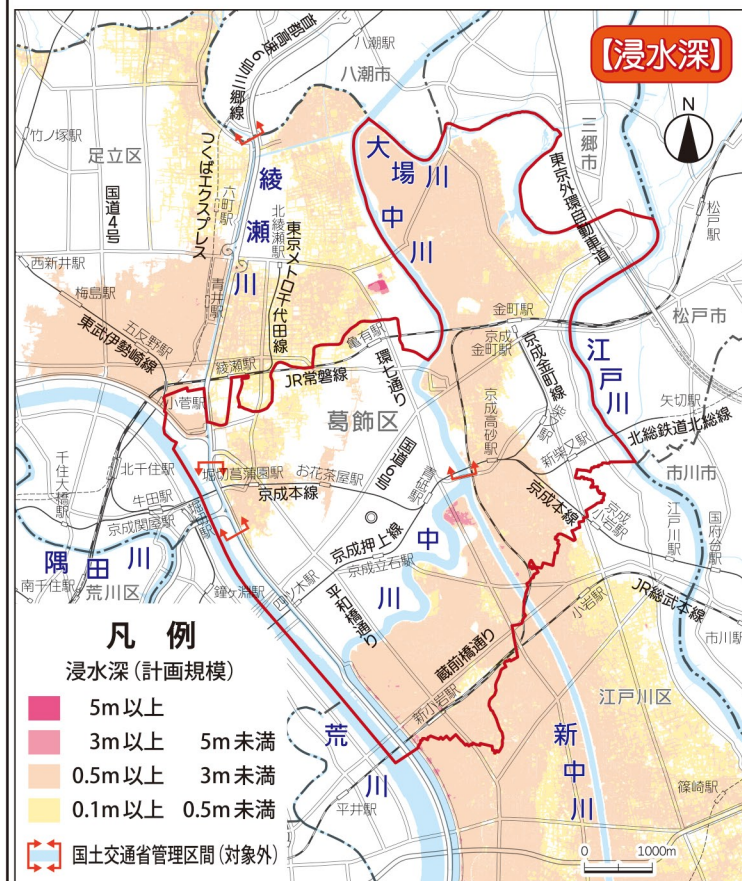
綾瀬川の計画規模降雨の場合は、上流の河川の整備状況から、葛飾区では浸水が想定されていません。



## 中川・綾瀬川圏域洪水浸水想定区域図 想定最大規模

前提となる降雨量:中川・綾瀬川圏域の1時間最大雨量153mm  
24時間総雨量690mm

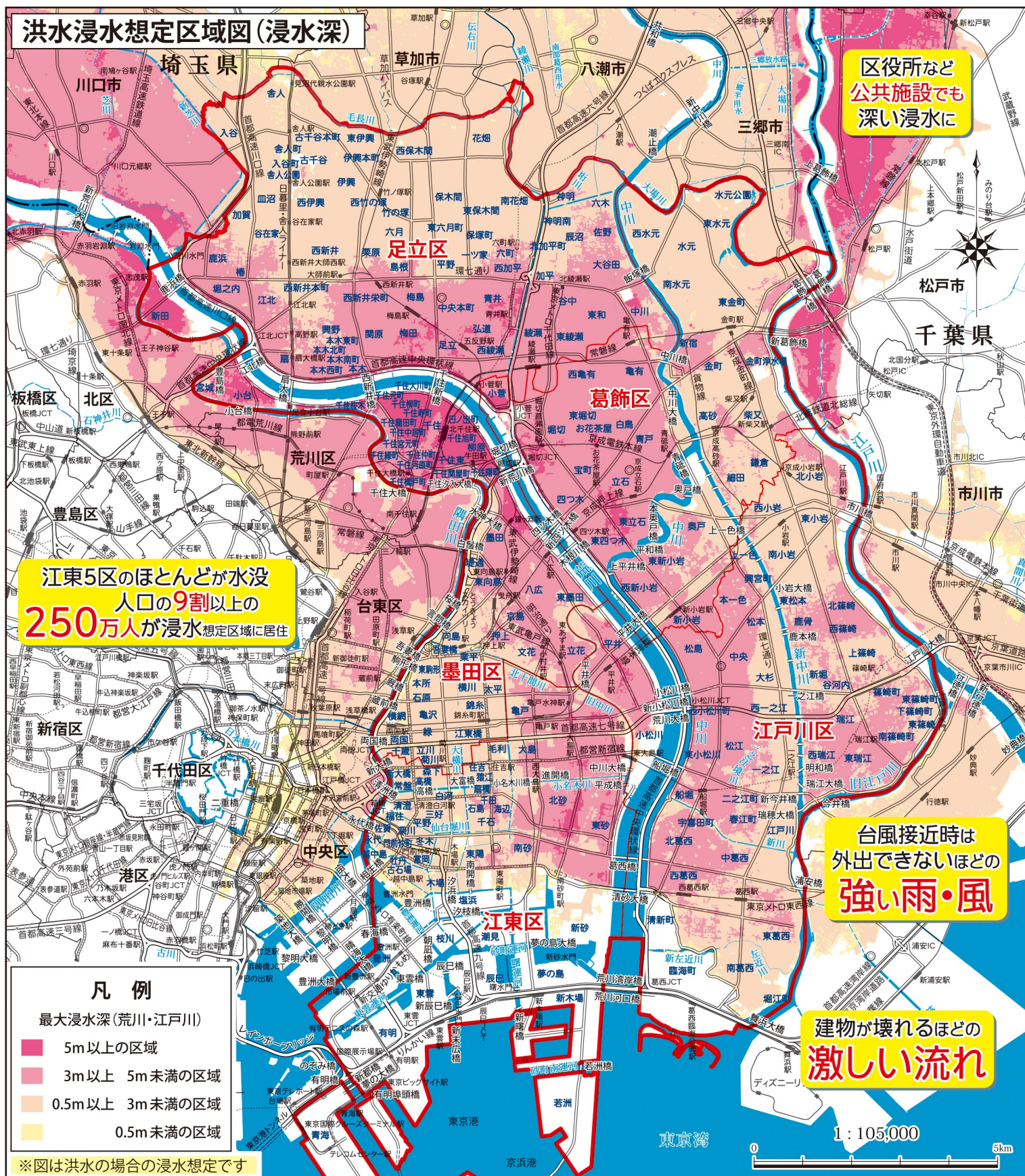
この図は、東京都が管理する中川の高砂より下流部、綾瀬川一部と大場川の浸水想定区域図を水防法に基づき示すものです。ただし、前提となる降雨量が異なることや中川・綾瀬川の上流部の河川整備の状況などが勘案されていないため、28～29ページの中川浸水想定区域図などと浸水区域が異なります。





## 第6章 複数河川・高潮の氾濫からの広域避難について

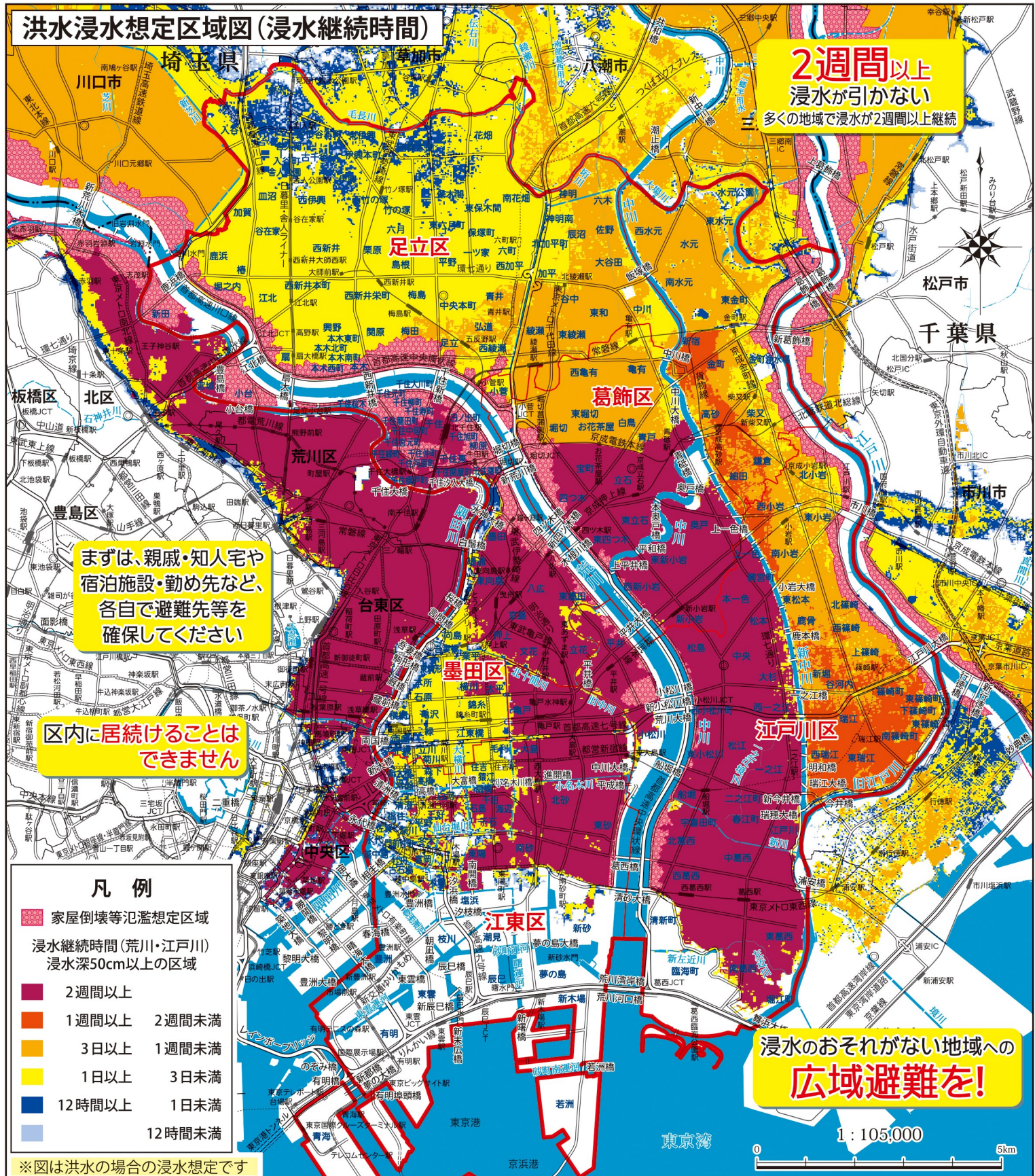
### ❖ 江東5区(葛飾区、江東区、墨田区、足立区、江戸川区)大規模水害ハザードマップ



大型台風などが接近したときは、外出できないほどの強い雨や風が予想されます。大規模水害が起こりそうなときには、江東5区からの避難情報に従って、早め早めに避難行動を開始しましょう。



荒川と江戸川の両河川が氾濫するおそれがある場合の、浸水想定についても確認しておきましょう。



浸水想定区域の居住人口が膨大であるため、多くの人が浸水区域内にとどまると、全ての人を救助するには長時間を要します。また、2週間以上浸水することも想定されるため、住まいや区内の避難建物に居続けることは困難です。

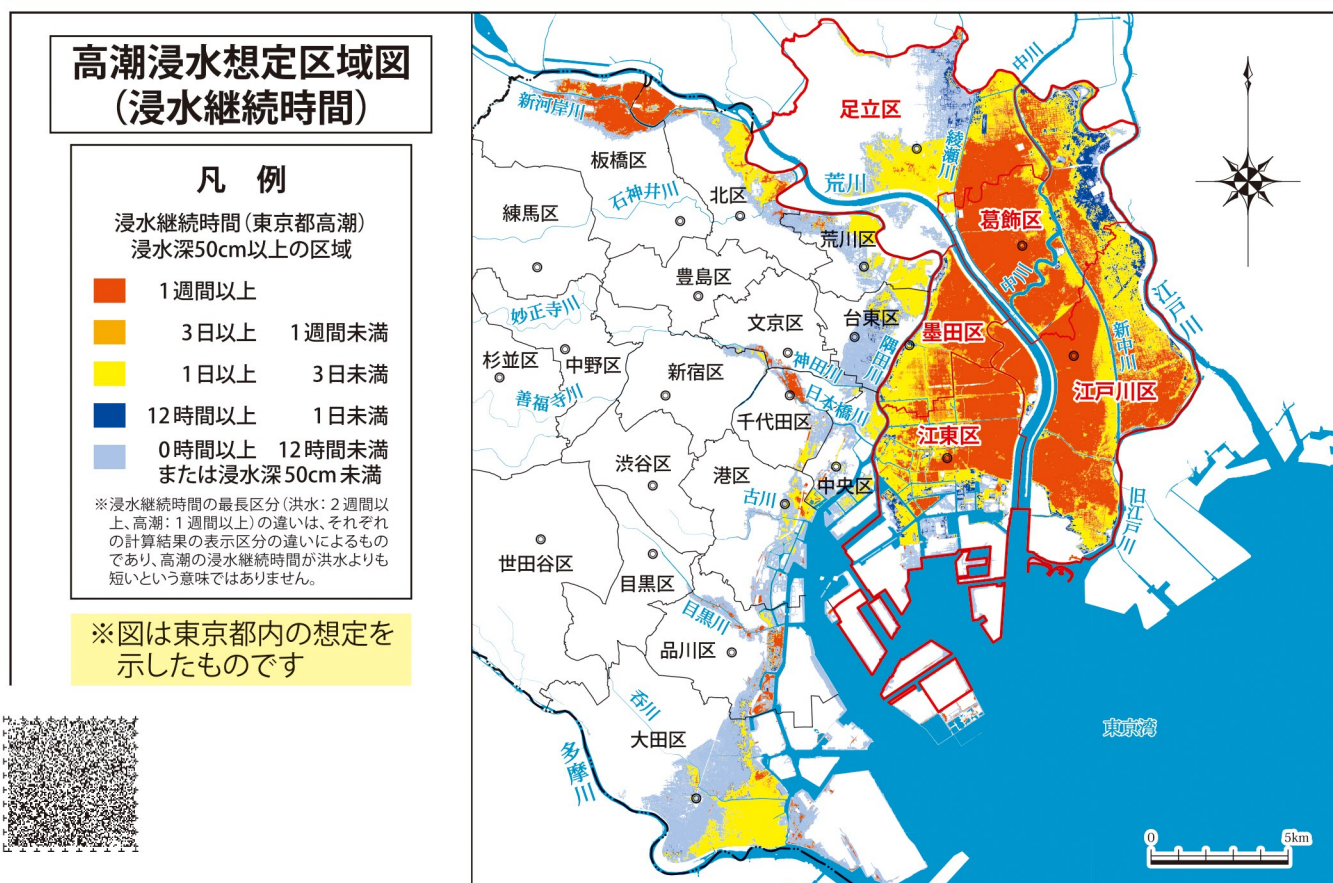
このハザードマップは、荒川と江戸川の浸水想定区域図(いずれも想定最大規模)を重ね合わせて作成したものです。

江東5区広域避難推進協議会 発行  
(平成30年8月初版)





※想定した台風:910hPa(既往最大規模の室戸台風級)









## ❖ 広域避難とは

### ◆ 広域避難とは

水害時の広域避難とは、区外の標高が高い地域や浸水のおそれがない地域へ、鉄道の計画運休が始まるよりも前の早い段階で避難することです。

これまで経験したことのない大型の台風による高潮や、荒川と江戸川が同時に氾濫するような大規模水害が発生した場合、江東5区（葛飾区、江東区、墨田区、足立区、江戸川区）のほぼ全域が浸水し、約250万人が避難の必要があることが想定されています。浸水による家屋の倒壊や流失の危険があるほか、浸水継続時間が1週間を超える地域も多く、長期間のライフラインの途絶などにより生活することが困難となります。

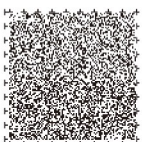
特に、人工透析などの継続的な医療が必要な方は、医療を受けることが困難となり、命の危険があります。また、区内にとどまり孤立すると、衛生的にも精神的にも大きな負担となります。自身と家族を守るため、江東5区から広域避難の情報が発令されたら、広域避難してください。

江東5区では大河川の氾濫による大規模水害に備え、国や都と連携して区外の浸水のおそれがない地域へ避難する広域避難の検討を進めています。

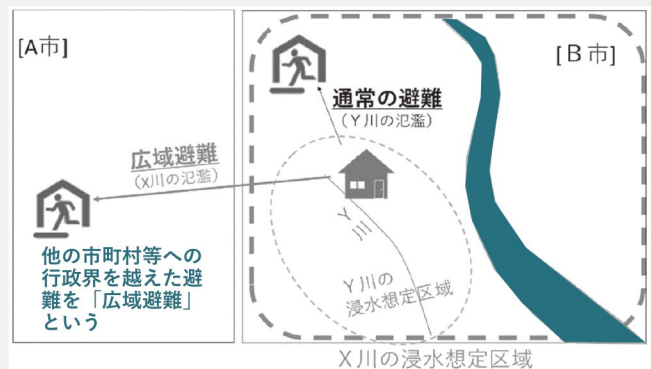
### ◆ 江東5区で発令する避難情報について

大規模水害が起きる可能性がある場合は、江東5区のほぼ全域に広域避難指示が発令されます。

各区や報道機関からの情報などで「広域避難」という言葉が使用された場合、これまでの避難と異なるものであることを認識し、適切な避難行動をとってください。

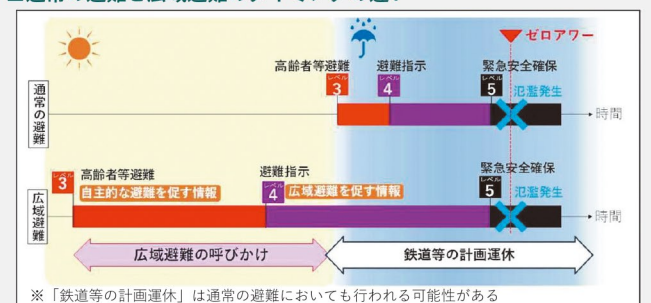


#### ■ 広域避難のイメージ



・ 広域避難とは、自治体（区市町村）の行政界を越える避難

#### ■ 通常の避難と広域避難のタイミングの違い

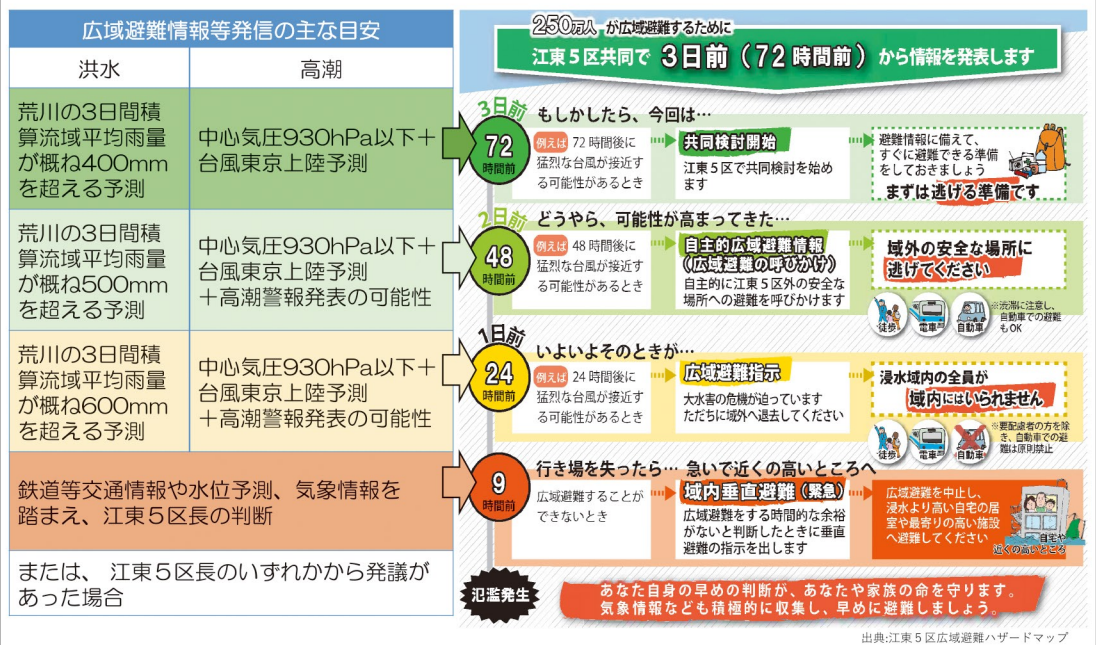


※「鉄道等の計画運休」は通常の避難においても行われる可能性がある

・ 広域避難は場合によっては、まだ晴天又は曇天下であり、通常の生活と変わらない環境で避難を決意する必要があり、難易度が高い。

## 大規模水害時の「広域避難」の流れ

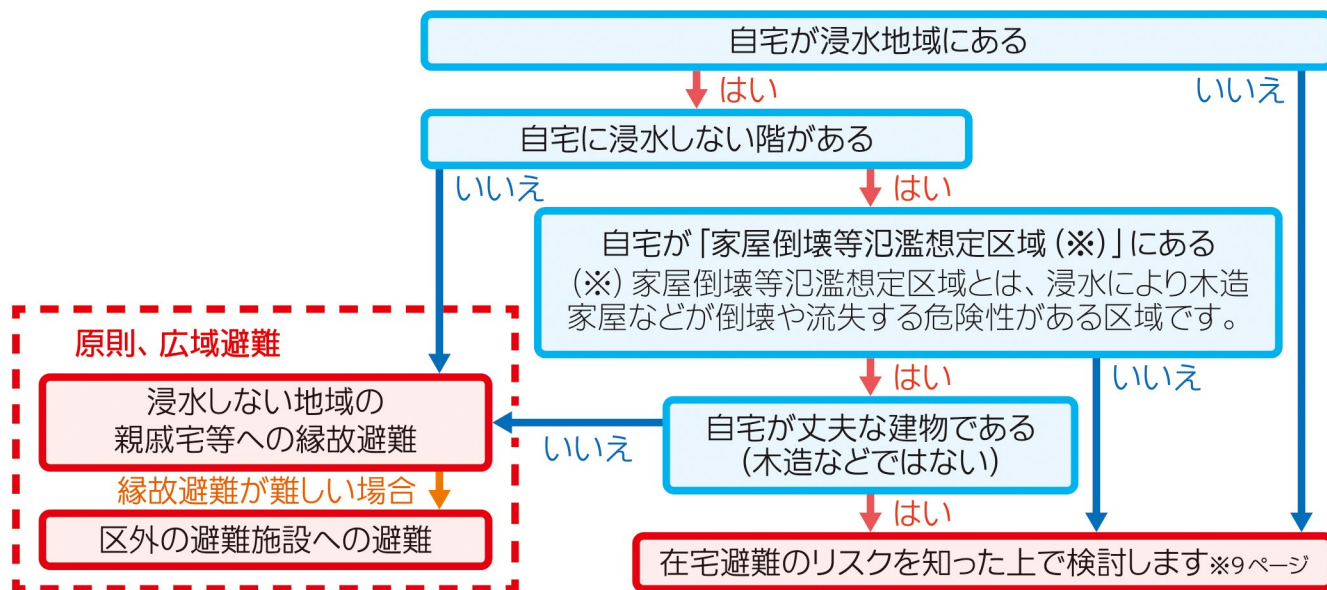
災害発生時の72時間前から各自安をもとに広域避難情報の発信を開始します。



出典:江東5区広域避難ハザードマップ



## ◆ 広域避難の判断フロー



広域避難指示発令後は、渋滞回避のため原則として自家用車の使用は制限されますが、公共交通機関の利用が難しい災害時要配慮者の移動に関しては、この限りではありません。

## ◆ 広域避難先施設について

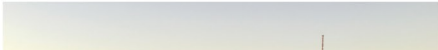
江東5区では、浸水しない地域の親戚・知人宅、ホテルや民宿、勤務先などへの自主的な広域避難を周知するとともに、国や都などの広域避難先施設の確保に取り組んでいます。独立行政法人 国立青少年教育振興機構をはじめ、国立施設や都施設、大学や民間の大規模施設などの23法人（令和6年12月時点）と協定を締結し、広域避難先施設として提供してもらいます。広域避難先施設は、大規模水害が発生する可能性があり、江東5区で広域避難指示を発令したタイミングで開設準備の整った施設を公表・周知します。

しかし、確保されている広域避難先施設には限りがあります。また、広域避難先施設に避難しても、混雑してプライバシーを確保することも難しいかもしれません。そのため、早めに浸水しない地域の親戚・知人宅やホテル等に避難しましょう。

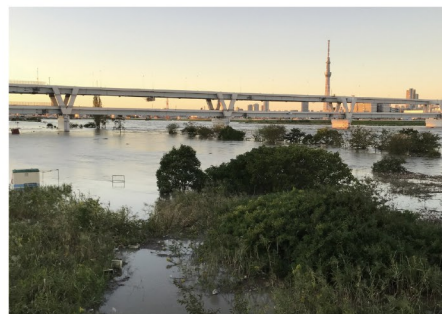
## ◆ 令和元年東日本台風(台風19号)

令和元年10月12日から13日にかけて関東地方に上陸し、全国に大雨をもたらした令和元年東日本台風は、上陸時の中心気圧は960hPa、荒川の流域雨量は446mmとなり、荒川の岩淵水門付近の水位は戦後3番目の水位を記録しました。

この台風よりも中心気圧がさらに低い930hPa以下の場合や流域雨量が500mm～600mm程度に増えた場合、高潮の発生や複数河川の洪水が発生する大規模水害となります。現在、河川の堤防や治水設備の整備を進めていますが、近年の地球温暖化に伴う気候変動により、台風の大型化や豪雨の増加による河川氾濫発生のおそれが高まっており、葛飾区でもいつ大規模水害が起こってもおかしくはない状況です。



未曾有の大規模水害に備え、江東5区外の親戚・友人宅等の避難先の確保をお願いします。



令和元年東日本台風通過後の荒川



## 第7章 身近な水害対策を進めましょう

### ❖ 自治町会に加入しましょう

自治町会では、地域で様々な活動を行い、安全・安心な住みよいまちづくりを進めています。まちの美化や季節のお祭り等を企画しているほか、防災訓練を行い、災害時には、お互いに助け合う取り組みを進めています。

自治町会に加入をして、ふだんから、地域の方と顔の見える関係を築くことで、いざというときに協力・助け合えるようにしておくことが大切です。



柴又地区で作成した水害パンフレット



新小岩北地区で実施した合同救命ボート訓練



東新小岩七丁目町会で実施した広域避難訓練

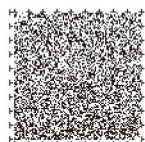
1歳から93歳までの総勢78名の方が、二上小学校から上野公園までの広域避難を体験しました



葛飾区や国、東京都等との協働で、全国的にも先進的な水害対策の取り組みをしている自治町会も区内にはあります。自治町会に加入をして、地域みなさんと、水害対策について考えてみましょう。

地域の水害対策を進めたい、という自治町会は、危機管理課までご相談ください。

自治町会への加入を検討されている方は、地域振興課か地区センターまでお問い合わせください。(地域振興課地域活動係 ☎ 03-5654-8219 ファクス 03-5698-1510)



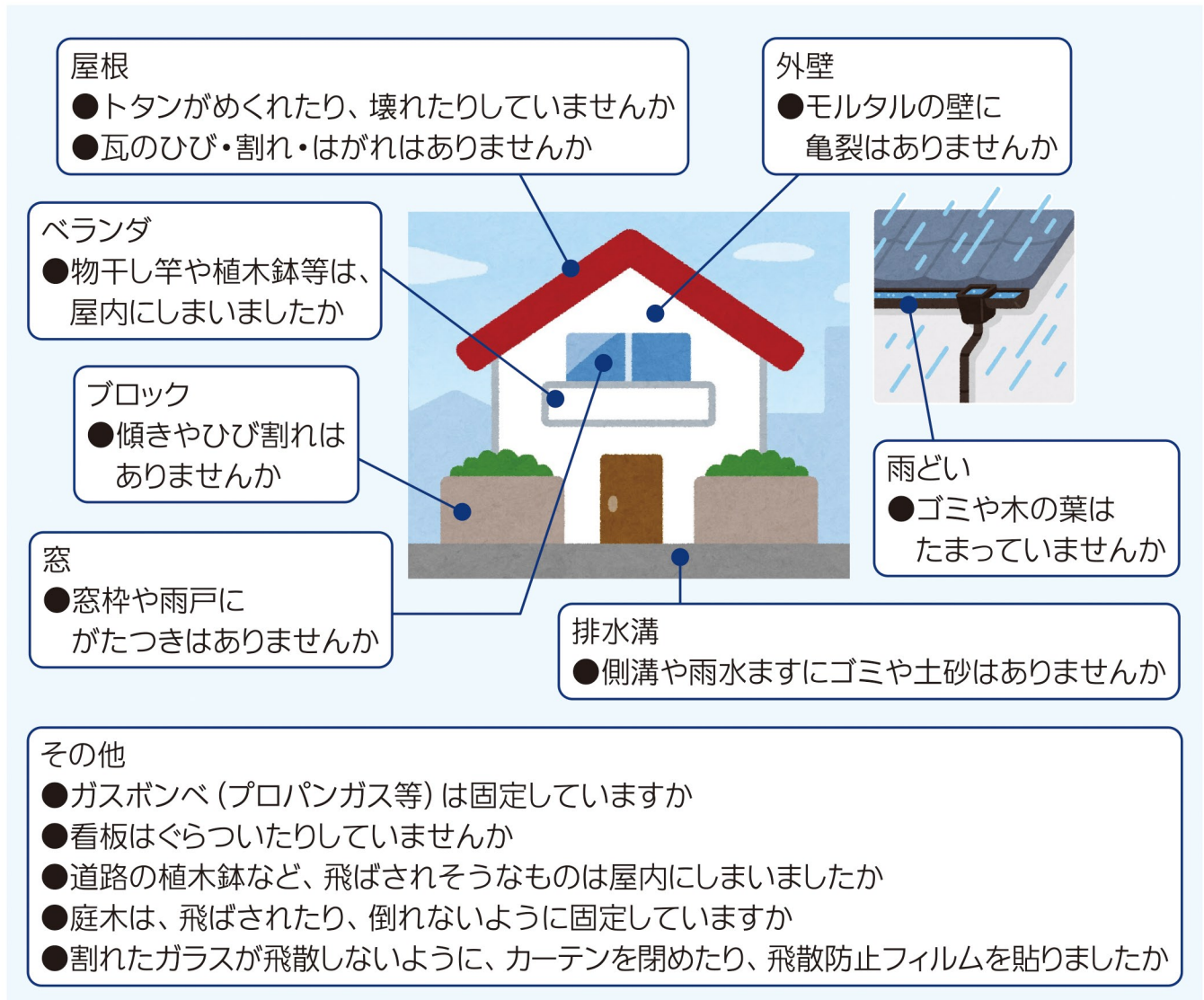
各自治町会の防災訓練や  
区で毎年実施している総合防災訓練に参加しましょう





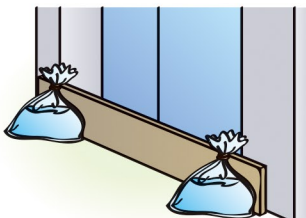
## ❖ 風水害に備えよう

風水害による家屋の被害を抑えるために、日頃から家の周りの点検や整備をしましょう。



### ● 水のうの作り方を覚えておきましょう

布袋の中に土砂をつめた土のうのほかに、小規模な浸水であれば、家庭にあるもので簡単に作成できる水のうでも浸水を防ぐことができます。



出入口を板などでふさぎ、水のうで押さえることで、水の浸入を防ぎます。

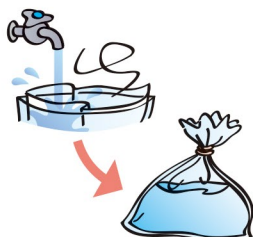


土のうのことはA1判のハザードマップを見てね

土のうくん

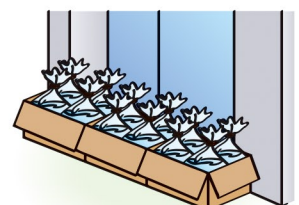
#### 水のうの作り方

家庭用の大きいごみ袋を2～3重にして、その中に半分程度の水を入れ（持ち運べる程度）、口をしっかりと縛って作ります。



#### 水のうと段ボール箱の併用

水のうを段ボール箱に入れて利用します。水のうだけの場合に比べて強度が増します。





## 第8章 いつ・どのような避難行動をとるのか考えましょう！

### ❖ マイ・タイムライン（私の事前防災行動計画）



#### ▼ パターン1 線状降水帯の発生などにより、内水氾濫の発生するおそれがある場合

警戒レベル／ 避難情報	24時間前		
	警戒レベル1 避難に関する情報	警戒レベル2 自主避難など注意の呼びかけ	警戒レベル SNS等でー
必要な情報	早期注意情報 大雨に関する気象情報	東京都気象情報 ※線状降水帯の発生の可能性が示される	
行動記入欄			

#### ▼ パターン2 台風などにより、一つの河川の氾濫が発生するおそれがある場合

警戒レベル／ 避難情報	3日前		
	警戒レベル1 避難に関する情報	警戒レベル2 自主避難など注意の呼びかけ	警戒レベル
必要な情報	早期注意情報 大雨に関する気象情報	大雨・洪水注意報	
	風に関する気象情報	強風注意報	
お住まいの地域によって 必要となる情報	河川の氾濫に関する情報 必要の場合に◎か○を付けましょう	氾濫注意情報	
行動記入欄			

#### ▼ パターン3 これまでに経験したことのない大型の台風により、高潮や複数の河川の氾濫が発生

警戒レベル／ 避難情報	5日前	3日前	2日前
	警戒レベル1 避難に関する情報	警戒レベル2 共同検討の開始	警戒レベル
必要な情報	早期注意情報 大雨に関する気象情報		
	風に関する気象情報		
お住まいの地域によって 必要となる情報	高潮に関する気象情報		
	河川の氾濫に関する情報 必要の場合に◎か○を付けましょう	氾濫注意情報	
行動記入欄			

### ❖ 非常時持出品チェックリスト



※記載はあくまで一例です。各家庭の事情に合わせたものを用意しましょう。

#### 水・食料

- ☐ 飲料水
- ☐ 携行食・非常食  
※ビスケットなど  
(最低2食分)

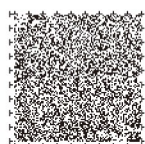


#### 医療・衛生

- ☐ 常備薬・お薬手帳
- ☐ マスク・消毒液
- ☐ 除菌シート・石鹸
- ☐ 歯磨きセット



- ☐ 簡易トイレ
- ☐ 生理用品・化粧品
- ☐ 体温計
- ☐ 使い捨てビニール手袋





3 相当 時滞在施設の開設準備を通知	警戒レベル4 相当 SNS等で一時滞在施設の開設を通知	0時間 警戒レベル5 相当 顕著な大雨に関する 東京都気象情報
大雨注意報	大雨警報	

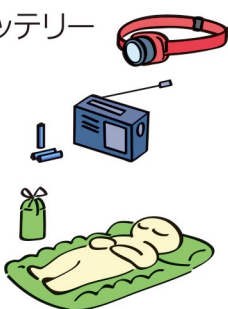
3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示	0時間 警戒レベル5 緊急安全確保
大雨・洪水警報		
	暴風警報	
氾濫警戒情報	氾濫危険情報	

するおそれがある場合

3 相当 自主的広域避難情報	1-日前 警戒レベル4 相当 広域避難指示	9時間前 域内垂直避難(緊急)	0時間 警戒レベル5 緊急安全確保
大雨注意報	大雨警報	大雨特別警報	大雨警報
	洪水注意報	洪水警報	
強風注意報	暴風警報		強風注意報
	高潮注意報	高潮警報	(高潮氾濫発生情報)
氾濫警戒情報	氾濫危険情報		(氾濫発生情報)

道具類

- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ LEDライト
- ☐ 電池
- ☐ エアマット  
(クッション)



衣類

- ☐ 防寒着
- ☐ 下着
- ☐ レインコート



生活用品

- ☐ ウエットティッシュ
- ☐ タオル
- ☐ ゴミ袋



赤ちゃん用

- ☐ 乳児用液体ミルク・粉ミルク
- ☐ 哺乳瓶・紙コップ
- ☐ 母子健康手帳(コピー/アプリ)
- ☐ ベビーフード(生後5ヶ月以上)
- ☐ おむつ・おしりふき
- ☐ 抱っこひも
- ☐ おもちゃ
- ☐ 着替え





## ❖ わが家の防災メモ 家族、知人の連絡先

名 前	電話番号	会社・学校名	会社・学校の連絡先

## ❖ 災害用伝言ダイヤル「171」 災害時には電話がつながりにくくなります 「171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます



## ❖ 防災学習用アプリ・多言語対応

### ◆ 防災学習用アプリ「天サイ!まなぶくん」



洪水が起こったときの浸水状況を立体的に表現するアプリです。

カメラで撮影した映像に、被害想定や避難所情報を合成して表示できます。洪水時の浸水想定のほか、地震や高潮による被害想定も確認できます。



iPhone、iPadをご利用の方はこちら



Android携帯端末をご利用の方はこちら

### ◆ 葛飾区ホームページ (多言語対応・音声読み上げ対応)

葛飾区水害ハザードマップは、葛飾区ホームページ上で108の言語で閲覧することができます。画面の左下に表示される多言語バーから言語を選んでお読みください。

また、音声の読み上げにも対応しています。

You can read the flood hazard map on the our website in 108 foreign languages.

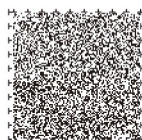
※自動翻訳のため、本来の意味と異なる表現になる場合があります。



葛飾区公式ホームページ  
水害ハザードマップ

発行／葛飾区 地域振興部 危機管理課  
〒124-8555 東京都葛飾区立石5-13-1  
☎ 03-3695-1111 (代表)

調製／国土地図株式会社  
〒161-0031 東京都新宿区西落合2-12-4



この冊子には、音声コード「Uni-Voice」が、各左ページ左下に印刷されています。スマートフォン専用アプリ「Uni-Voice Blind」などで読み取ると、音声で内容が確認できます。

各ページの地図は、国土地理院長の承認を得て基盤地図情報を使用し編集・加工して作成した地図を、二次利用したものです。

